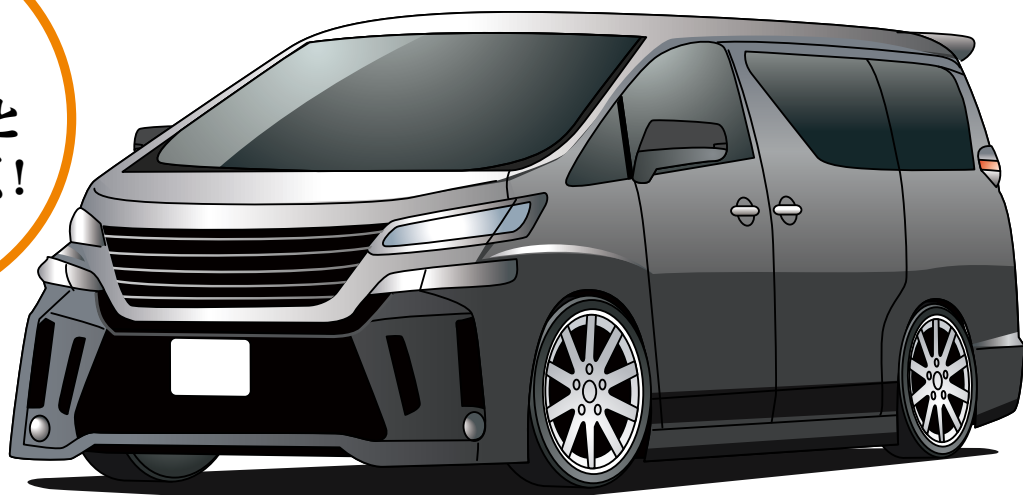




お手軽カー読本

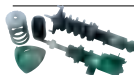
わくわくパーツ ハンドブック

Contents

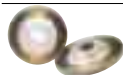
2016年度版 NAPAC/JASMA 監修

愛車をカッコよく仕上げる最新ドレスアップ術

部分別カスタムポイント



#01 サスペンション



#02 ブレーキ



#03 車体剛性パーツ



#04 駆動系



#05 アルミホイール・タイヤ



#06 エアロ



#07 ドレスアップインテリア



#08 スポーティインテリア



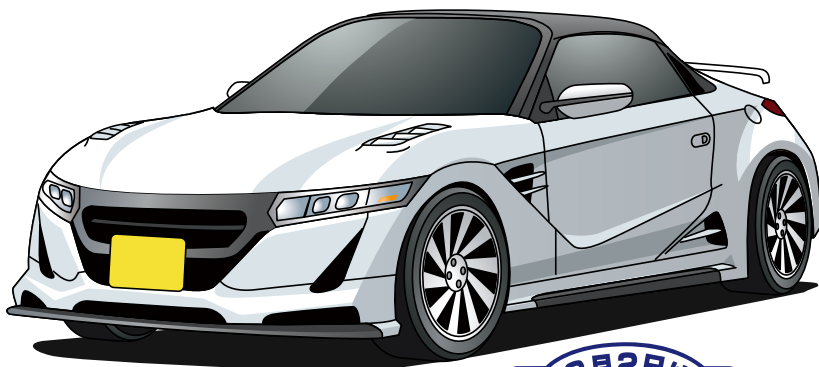
#09 エンジン・クーリング



#10 ライティング



#11 エキゾースト



愛車をカッコよく仕上げる最新ドレスアップ術

ミニバン&Kカーに カスタムトレンドを取り入れろ!

ミニバンやワゴンタイプのKカーカスタムをするときのポイントは、ボディのボリュームを活かしたカタマリ感の演出。そのときに完成形を見据えて、トレンドを取り入れたパーツ選びをしていけば、ギャラリーの目をひくスタイルを見せつけることができる

人気アイテムを取り入れることで
完成度の高いスタイルをつくりあげよう



ベースとなるカスタムはこれ!

ミニバンやワゴンタイプのKカーは、ボディの面積が大きいという特長がある。ところがノーマルのままではタイヤとフェンダーの隙間が大きく、腰高感が強い。そこを是正するためのワザが、ローダウンとホイールの大径化、そしてエアロパーツの装着だ。この3点はカッコいいカスタムの基本と考えたい

エアロパーツ



前後のバンパーやボディサイドに装着するエアロパーツは、セットすることでそのぶんボディのボリュームが大きくなるため、より強いカタマリ感をアピールしやすい。デザインによってスポーツイメージのものや、押し出しの強いものがあるので、好みで選ぼう

ローダウン



フェンダーとタイヤの隙間を小さくする第1のポイントはローダウン。ローダウンスプリングを使ったり、車高調整式のサスペンションを使うことで実現ができる。乗り心地やそのあと装着するホイールの大きさなども考慮して、最低地上高の範囲内で下げすぎないようにすることが大事だ



※エアサス装着車
(走行時は車高を上げて走行します)

ホイール



純正サイズから1~2インチ大きいホイールを用意し、タイヤはそのぶん扁平率の低いものとする事で、メーターの誤差なしでの迫力アップが可能。ホイールを選ぶときにはまず、自分のクルマに装着できるサイズかどうかということをきちんと確認しておきたい

最新トレンド 1

ホイールはコンケーブがキーワード

ホイールの最新トレンドはコンケーブ形状というもの。これはホイールのセンター部分が引っ込んでいる、逆張りとなっているものことで、車体に装着することで強い立体感をアピールできる。ノーマルボディにもマッチするので、まずはここからはじめるのもアリだ!



立体感が強いのでそのぶんボディの面の大きさがアピールしやすく、そのぶん迫力が出る

最新トレンド 2

光を変えて妖しさアップ

ルームランプを純正の電球からLED製へと換えることで、鮮やかさが増す。それに加えてカラーチェンジをすると、妖しさもアップ。これも他の部分がノーマルでも交換したときのイメチェン効果が大きい。価格も手ごろなので、費用対効果の高いアイテム



ホワイトだと点灯したとき車内を鮮やかに照らしてくれる。カラーチェンジは効果大だ

最新トレンド 3

居住性アップもPOINT

自分ひとりだけではなく、パッセンジャーが同乗する機会が多い、というのもミニバンやワゴンタイプKカーの特長。そこでパッセンジャーが使いやすいテーブルや小物入れなどを装着するということも押さえておきたい。パネルとリンクした仕上げのものを選ぼう



これもスポーツテストならカーボン調を、高級感ならウッドやレザーのものを選びたい

最新トレンド 4

隙を見せないための小物チョイス

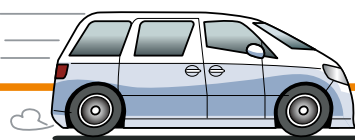
最近のクルマはもともと高級感が強いものも多い。ところがそういうクルマでも、細かいところは意外とあっさりしたものとなっているもの。シフトノブやペダルといったところをカスタマイズすることで、より自分の求めるイメージに近づけていくことができるのだ



見た目のレベルアップに加え、スムーズな運転をするための補助アイテムとしても有効

さまざまな形状や仕上げのものが用意されているので、イメージにマッチするものを選ぶ





ローフォルムでカッコよくキビキビ走れる!!

全長調整式車高調

多機能モデル

細かな調整ができる

車高と走行性能をダンパーの長さとし、スプリングの取り付け高さの両方でセットでき、車高、操縦性、乗り心地などが細かく変更できる



ダンパーの伸縮する長さを保って車高が下げられるが、下げ過ぎはサスの動きが渋る。推奨範囲で使うのが基本

下部にブラケットがつく分、実際のダンパー長は短く、ネジ式と同車高では伸縮量（ストローク）がやや少ない



各部の役割

① アッパーマウント



ボディに取り付く部分。サスの動きをよくするため、ブッシュはスポーツ走行向きがピロボール、ストリート向きには強化ゴムが使われることが多い

② 減衰力調整



調整機構が付いているとダンパーの作動を強めたり、弱めたりと調節でき、ハンドリングやコーナリング時のロールの速さ、乗り心地が好みに合わせられる

③ ダンパー



スプリングが伸縮する速さを制御し、クルマの姿勢や挙動を整える。減衰力と呼ぶ数値が大きいと縮みにくく、伸びにくい。小さいと作動はその逆になる

④ スプリング



クルマの車重を受け止め、タイヤが路面に押し付くようにし、接地させる。従ってバネの硬さで乗り心地、グリップ感、ロール量などサスの基本的な性能が決まる

⑤ 車高調整



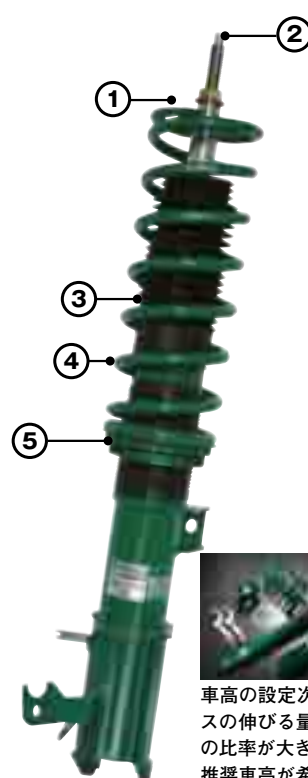
ネジ式はスプリングを支えるスプリングロアシートの位置を、全長調整式はロアブラケットの位置を回転させて調整すると、希望の車高に合わせられる

ネジ式車高調

ベーシックモデル

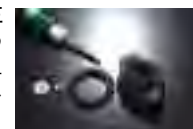
シンプルで扱いやすい

車高と走行性能をスプリングの取り付けの高さでセットする。メーカー設定の基本車高で使うなら操縦性や乗り心地に有利な仕組み



車高の設定次第で、サスの伸びる量と縮む量の比率が大きく変わる。推奨車高が希望の車高に近いキットを選ぶ

乗り心地の確保に純正アッパーマウントを使うキットは、リフレッシュを兼ねて新品マウントで組むのが最善

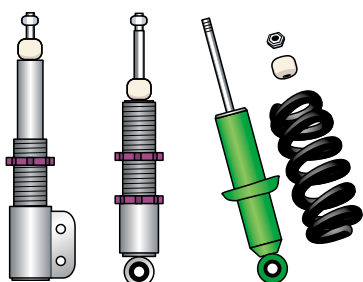


キットによっては、全長調整式を含めサスが伸びたときのタイヤの接地性を高めるヘルパースプリングがつく

サスペンションの豆知識

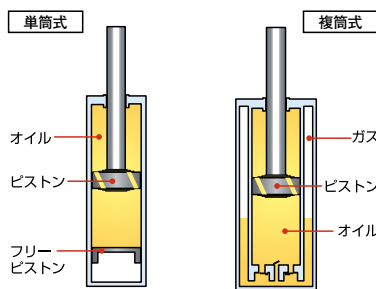
性能の基本をつくるダンパーを知っておこう

●ストラットタイプとマルチリンクタイプ



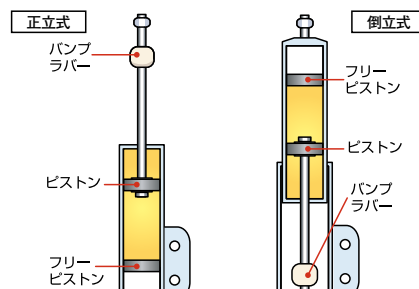
ストラットはアームの一部として車体を支えるため全体に太め。ウィッシュボーンやトーションビーム用のマルチリンクタイプは、そこまでは求められず細め

●単筒式と複筒式



一般に単筒式は複筒式と同径で同じ長さなら減衰力を生むピストンが大きく、作動の反応が速い。複筒式はフリーピストンがなく、ストロークを得やすい

●正立式と倒立式



正立式を逆さまにした仕組みはストラットタイプの単筒式のみ成り立つ構造。シリンダーが二重になり、高い剛性が得られる。半面、摩擦部分が多くなる

こういう効果がある



- 乗り心地が引き締まり、ハンドリングの安心感が高まる
- タイヤの接地性が強まり、グリップが増して走りやすくなる
- コーナリング時のロールがゆるやかで曲がりやすくなる
- 愛車を見栄えのいいローフォルムにできる

選ぶときはココをチェック

地上高

取付

機能

- 車高調キットは街乗りが主ならストリート向け、スポーツ走行をするなら相応に設定されたモデルを選ぶ。乗り心地や車高の設定が変わってくる
- 正しく機能させるため、アライメント調整も必ず行う
- タイヤやブレーキも強化すると、車高調キットの性能が一段と楽しめる

走りをキめるポイント

車高調整サスペンションには、メーカーが公道での使用にあたって推奨する車高設定の範囲がある。とはいえ、その数値を基準にキットを取り付けて終わりでは惜しい。それでは性能のすべてを楽しめない。そこで押さえるべきセッティングの基本を覚えよう

車高の設定は空車時に最低地上高90mm確保が絶対



推奨車高に合わせても、装着タイヤやマフラーによっては地上高が不足する。また前面のウインカーが低い位置につく車両は、路面から下端までの高さが35cm以上必要。車高を調整して適合させる



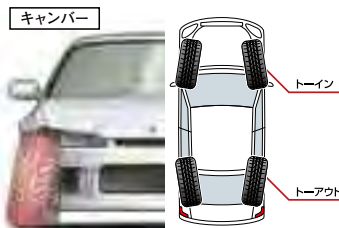
マフラーはメインパイプやテール付近が低くなりやすい。タイヤとホイールはサイズによっては車高の変化からハミ出しや、地上高の低下に注意したい

交換時はトーやキャンバーがズレるためアライメント調整を必ず実施



車高を下げると、サスペンションの構成パーツとタイヤとの位置関係にズレが生じる。そのままの状態では正しく走行できず、タイヤからは唸るような過大なノイズが響き、偏摩耗も進む。アライメント調整は必ず行おう

ハンドリングに影響を与えるアライメントは、ストラットや一部マルチリンク系サスはキャンバーが調整できる。一般的に前者なら調整式アッパーマウントやブラケットの調整機構で、後者なら純正アームの長さで修正。トーはタイロッドという部分やアームの長さで合わせる

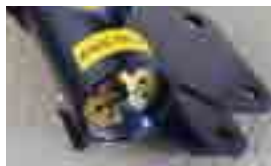


電子式調整コントローラーの装着で乗り心地やハンドリングを車内から調整



減衰力はダンパーに設けられた調整用ダイヤルを回すと調節ができるが、メーカーによってはその操作が室内から行える電子制御コントローラーを用意。走行シーンや乗員数に見合う調節がすぐに行え、変化も比較しやすい

ダンパーの構造もかわるが、車種によってはダイヤルが回しにくい位置にある。電子式コントローラーを併用すれば、そんな場合でも調節が楽。便利なので同時装着を考えた



オーバーホールや仕様変更を受ければ長く使い続けられる

ダンパーは、走行距離や使い方に比例して内部のパーツが摩耗する。多くはオーバーホールが行え、作業を受ければ性能を取り戻せる。好みの特性に仕上げてもらうことも可能だ



スプリングは例えばバネレートが5kg/mmなら1mm縮めるのに5kgの重さが必要。ダンパーの減衰力に余裕があればハイレート化によりロールをさらに抑えたり、グリップを高めたりもできる

ローダウンスプリング

手軽にできるサスペンションチューン



純正ダンパーのままローフォルム化でき、走りに安定感が加わる。車高調整が不要で、パーツ代も安価なのが利点。ただし、走行性能は純正ダンパーの仕様や状態に左右される

純正形状ダンパー

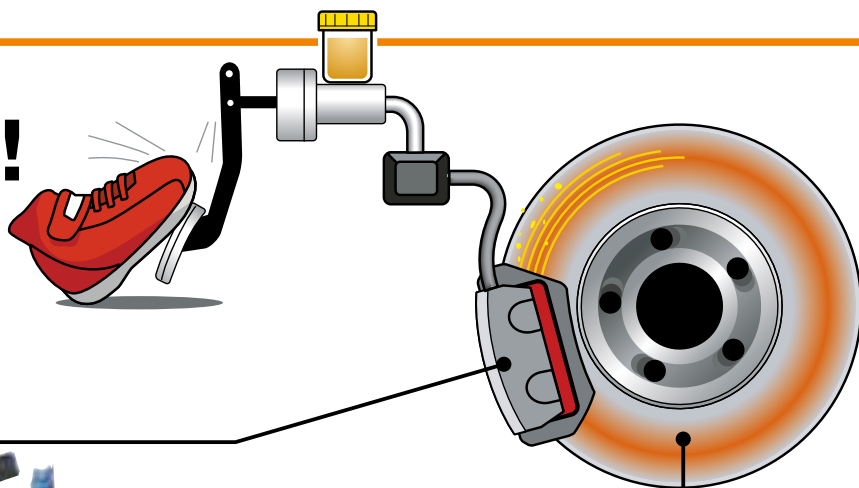


車高を変えずに、コーナリングなどで手応えのあるサスに仕上げられる。車高が多少下がる、スポーツ志向のスプリングをセットにするキットもある。リフレッシュにも最適



ブレーキ

強力に減速でき！ スマートに 止まれる!!



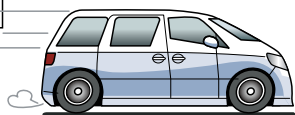
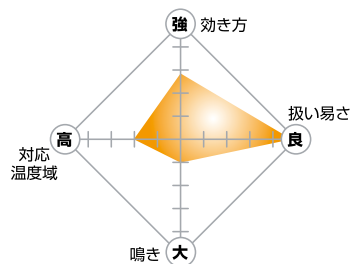
ブレーキパッド&シュー

効きを手軽に変えられる

もう少し強い効きがほしい、姿勢がよく止まってほしい、ワインディングやスポーツ走行に応える制動力がほしいなど目的に合うパッドを選んで性能をアップさせよう



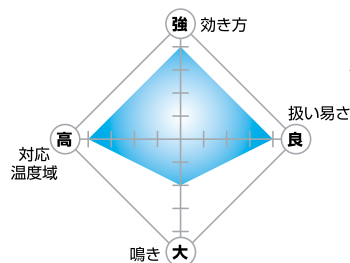
ストリート



走り始めの低温から効く

ブレーキは回転エネルギーを摩擦で熱に換え機能させるため、低温では効きが鈍る。このタイプは走り始めまもなくから使え、制動も純正に比べやや強い。日常走行向き

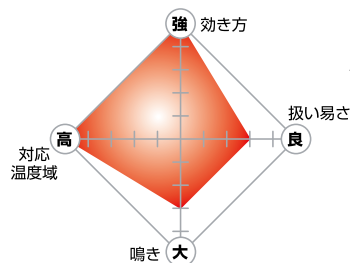
スポーツ



強い制動で広く使える

制動力が強く、温度上昇時に効きが弱まるフェードにも強い。大抵は、街乗りからサーキットでのスポーツ走行まで対応する。但しホイールが汚れることも多い

サーキット



高温域で性能を発揮

モータースポーツ向き。ローターが高温域になって強力な効きが発揮され、酷使できる。引き換えにブレーキが暖まらなると止まりにくく、ローターばかりが減ってしまう



パッドの材質特徴

ノンアスベスト系

ペダル操作時の感触がやさしく、ローターも攻撃にくい。主にストリート用に使われる

セミメタル・カーボン系

ノンアスにスチールやカーボン材を混ぜ、効きや温度特性を高める。スポーツタイプに多い

メタル系

金属粉が焼結されており、ローターが摩耗しやすいが、サーキット走行に適している

ブレーキローター

1ピース純正形状タイプ

純正のメンテにも最適

材質は純正同様に耐熱鋼だが性能に有利な素材が使われ、制動をアシストする表面処理が施されたものも多い。純正の補修を兼ねたアップグレードに最適

安定したブレーキの効きをもたらす
スリット入りローター

ブレーキダストの除去、温度上昇時にパッドとローター間に発生するガス抜き、制動力を増幅するなどスリットの刻み方はメーカーのノウハウ。ローターの摩耗の目安にも使える

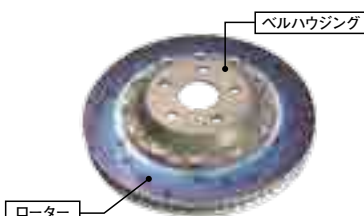
熱を放出して温度を安定させる
ベン(ベンチレーター)構造

効きを保つためにローターの内部へ走行風を流して冷却し、ローターの温度を安定させる構造だ。ベンの大きさや数、内部に設けるフィンの形状などメーカーごとに工夫がある

2ピースタイプ

スポーツ走行に有効

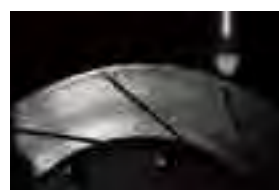
ローターと、ローターをハブに留めるベルハウジングというパーツが、それぞれの機能に適した異なる材質でつくられている。ローター径は純正同等でも、スポーツ性が高い

制動力と軽量化が追求された
別体構造

2ピース式はベルハウジングがアルミ製。軽くて、サスの動きにかかわるバネ下重量も低減できる。ローターは制動力を高めながら、生じる熱がハブ側へ伝わりにくくするタイプもある

ブレーキは最後まで残さず
使えるものではない?!

パッドもローターも、厚みは摩耗によって徐々に薄くなり、熱に対しての許容量も少なくなる。摩耗が進むほど、効きがしっくりこなくなる。性能維持にパッドは残量が半分で、ローターは1mmほど減ったら新品交換が理想だ



こういう効果がある



選ぶときはココをチェック

取付

効き

機能

- ブレーキペダルを踏む量に応じて、強いブレーキがかかるようになる
- ワインディングなどでブレーキを連続して使っても、効きが安定しやすい
- サーキットのスポーツ走行では高い車速からの減速がしやすくなる
- ビッグキャリパーは強力かつコントロールしやすい制動性能が得られる

- パッドは目的に合うタイプを選ぶ。誤ると使いたいシーンで、かえって制動が不足するなど使いにくくなる。ABSとの相性も確認
- パッドの性能を活かすために、フルードも必ず新品にする。ローターが摩耗していれば、やはり新しくする
- ビッグキャリパーはアルミホイールのサイズや形状によっては組み合わせがきかない。マッチングを確認しよう

ビッグキャリパーシステム

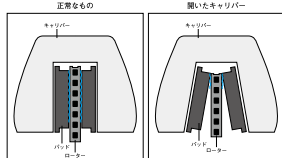
制動力も迫力もこのうえなし！

キャリパーの大型化で、パッドの効きだけに頼らず、強力なブレーキ性能が得られる。対向マルチピストンキャリパーは、使われるピストン数によって片側に2つ付くものを4Pot(ポット)、3つを6Pot、4つを8Potと呼ぶ



対向マルチピストン

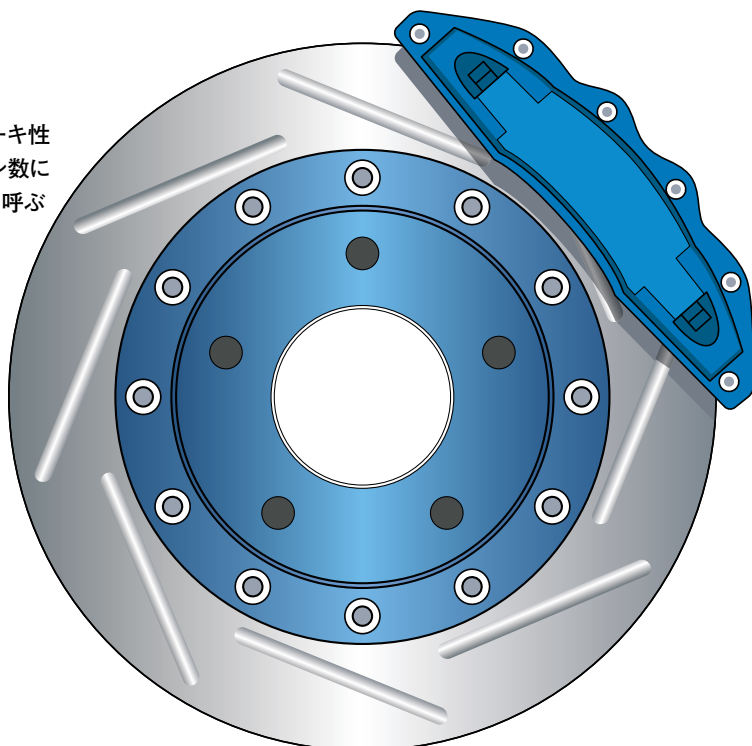
左右に異径ピストンがバランスよく配置される。これは6Potの例。パッド全面に均等の力がかかり、回転するローターを左右からつかむように止めるので制動力が高い



純正のアルミキャリパーは熱によって本体が軟らかくなり、右の様に變形し、ブレーキの効きが弱くなる事がある

高剛性・大容量ボディ

ボディは制動時にパッドがローターの回転に跳ね返されず、また熱の影響で變形しにくい頑丈かつ容量のある構造。サイズが大きくても素材がアルミなので重量は軽い



専用大型ブレーキパッド

大型キャリパーに見合った面積がある。ローターとの接触面が増え、より強いブレーキがかかる。ゆえに踏力の加減で効きをコントロールできる特性で使いやすい



2ピース

アルミ素材の一体型がモノブロック。分割構造が2ピース。素材は鍛造と鋳造がある。鍛造モノブロックは高価だが、剛性や耐熱性にとても優れ、ハードな走行に向く

大径ブレーキローター



純正ローター対応キットもあるが、多くは純正より一回り以上大きいローターがセットになる。ローター大径化によって軽い踏力で制動力を発揮できるようになるため、ストップパワーの増大につなげられる

ミニバンのインチアップドレスアップにもベスト

その性能ゆえにミニバンをはじめ車重のあるクルマでも、余裕のあるブレーキ性能を得られる。またインチアップではホイールとともに足元を飾れ、見た目も美しい

ブレーキチューンの性能アップはここも押さえよう

ブレーキライン



純正品より加圧時の膨張が少なくなり、ブレーキペダルがカチッとした踏み応えになる

車検ではホースの固定方法が確認される。こうした純正同様の方法でなければ車検の検査規程を満たしにくい



マスターシリンダーストッパー



マスターシリンダーを車体にしっかり留めてやると、ペダルを踏む量に対しての効き方がわかりやすくなる

ブレーキフルード



高性能品を組み合わせるとブレーキ多用時のフルードの沸騰による性能低下が抑えられ、制動が安定。流動性に優れていると操作感も向上する

車体剛性パーツ

サスペンションが的確に 動くようになり タイヤのグリップ が向上する!!

車体剛性パーツは乗り心地を大きく変えずにサスペンション性能が高められるチューニングでもある



POINT

こういう効果がある

- サスペンションの動きにかかわる取付部を補強すると、ボディがシャキっとする
- 車体の骨格となるフレームとその周辺を補強すると、ハンドル操作時のクルマの反応が高められる
- ストラットバーやピラーバーは手軽で、体感もしやすい

選ぶときはココをチェック

地上高

効き

機能

- ボルトで取り付けられるものばかりだが、各パーツは同時装着ができない場合もある
- 室内用は乗降や荷物の積載がしにくくなることもあるので、目的に合わせて選ぶ
- フロア下面に組むものは、車高によっては最低地上高に気を付けよう

① ストラットタワーバー



サスの取り付け上部を
強固に結合する

サスペンション上部の左右をガッチリつなぐと、スプリングとダンパーが的確に動くようになりハンドリングが向上。リア用もある



形状や材質がいろいろありエンジンルームを飾ることもできる

② ロワアームバー



ロワアーム取付部の
左右をしっかり留める

ロワアームはサスとともに可動する。取付部をバーで補強すると、加速コーナリング時のアライメント変化を抑えられる。リア用もある

③ プレスバー



ボディやメンバーを
バー材で複数点固定

車体下面の各部をつなぎ、固定することで、ボディや足周りの歪み等を抑え、ボディ剛性の向上と正確なハンドリングを獲得できる

④ スポーツ走行にロールバー



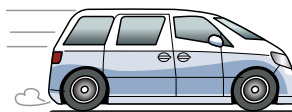
室内にバーを張って
骨格を強くする

装着に加工がいるが、室内にバーを張り巡らせるので安全性と車体剛性を同時に高められる。乗車定員が変わる形状は記載変更が必要



サーキットによっては、オープンカーはロールバー装着が必須なケースもある。なるべく装着したい

ミニバンや軽カー、 ホットハッチはココもキメる!!



室内フロアバー



この種のクルマは車室のスペースが広く、ホイールベースも長い。Bピラーの左右をフロアバーで連結するとクルマの前後の動きに一体感が現れ、フットワークが軽やかになる

フロアアンダーバー



とくにFF車はエンジンとミッション、サスペンションやステアリングのすべてがつながるサスマンバーの基部をアンダーバーで固めるとハンドルの操作感とタイヤのグリップ感が高まる

リアピラーバー



ハッチバックは開口部が広いので、Cピラーの左右を真っ直ぐつなぐピラーバーを組むと、コーナリングやレーンチェンジ時にフロントの動きに対してリアまわりの追従が高まる

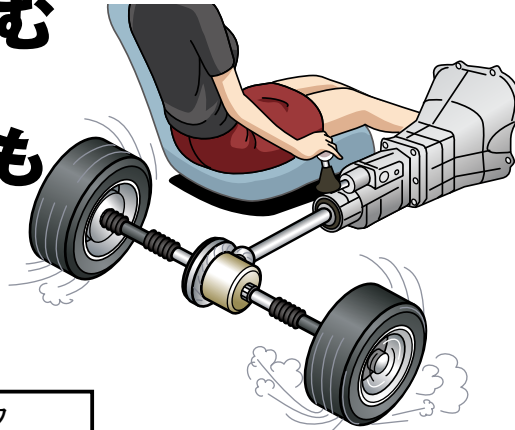


ローダウン車は
最低地上高に注意

フロアの下まわりに補強バーを取り付けると、車高によってはその部位が最低地上高になる可能性も起こり得る。保安基準の90mmを満たせなければ、車高の見直しと調整が必要だ



クルマの前に進む力が強くなり！ コーナーも悪路も走行性能がアップする!!



LSD リミテッド スリップ デフ

純正の弱点を補ってより安全により速く

純正デフは差動といって、旋回中に発生する内側と外側のタイヤの回転差を吸収してカーブを曲がりやすくする。しかし状況によってはタイヤの空転によって、車を前に進めるための駆動力が逃げてしまうこともある。

LSD は多数のプレートが並ぶ機構がアクセル操作に応じて差動を止め、両輪を同じように回転させることで両輪から駆動力を路面に伝え、姿勢を安定させるとともにクルマを確実に前へと進める



ノーマルデフ

アクセルONで片輪に駆動力が逃げて進まない

旋回時は外輪に車重が多くかかる。また路面は平坦な直線を除き、凹凸など変化が続くので両輪にかかる車重に差ができ、重さのかかりが少ない側から駆動力が逃げる



コーナリングでは車重が多くかかる外輪側のサスが縮み、内輪側は伸びる。外輪が止まる一方で、内輪は接地が弱まるので前に進みにくくなる



悪路や雪道では路面の抵抗の少ない側が空転し駆動力を逃がす。変化が続く路面ではタイヤの接地状態によって両輪の駆動力に差が出る

LSD

左右のタイヤが同じように回るので前へ進む力が強い

方式には加速時のみ機能する1Way、加減速を問わず機能する2Wayと1.5Wayがある。減速時、1Wayの作用は純正と同様。2Wayと1.5Wayは姿勢の安定に効果的



加速時はしっかり外輪からも駆動力（トラクション）が伝わる為、純正デフに比べ、コーナーをより速く駆け抜けられる

POINT

こういう効果がある

- LSDを装着するとエンジントルクがミッション、サスペンション、タイヤを通して路面へ確実に伝わる
- 強化クラッチを組むとスポーツ走行時にすべりが抑えられ、ギアチェンジがスムーズかつ素早く行える

選ぶときはココをチェック

取付

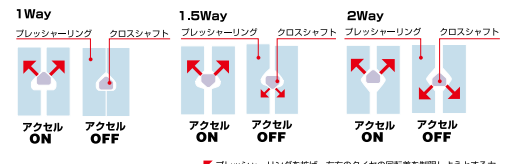
効き

操作性

- LSDは駆動軸と操作軸が同じFFや4WDの前輪には1.5Wayや1Wayが適し、FRや4WDのリアは1Wayから2Wayまでマッチ。各AT車用もある
- 強化クラッチは、ペダル操作に高い踏力が必要になることも。またLSDにも共通する話だが伝達トルクが高まるので、サスペンションやブッシュも強化するといいい



方式の種類



アクセルON
コーナー加速時の例

リア駆動の1BOXやミニバンは乗員や積載が少ないと悪路などでリアタイヤが空転することがあるが、LSDを組むと回避しやすくなる

強化クラッチ

高いエンジントルクを確実に伝える!!

トルク伝達を確実にするだけでなく、タイプによってはシフト操作が素早く行え、エンジンが吹け上がるレスポンスさえも高まる



純正形状タイプ

ディスクをフライホイールに圧着する力が強いカバーと摩擦性能の高いディスクを使用。半クラッチが扱いやすく、ライトチューンにマッチする



メタル・カーボンタイプ

ディスクは軽量で、材質には滑りや熱に強いメタルやカーボンが使われる。多少半クラッチにクセがあるが、素早い操作が行え、耐久性も高い。スポーツ走行向き



軽量フライホイール

軽量化が見込める材質と形状でつくられる。純正形状のクラッチと併用するとエンジンの吹けるレスポンスを早められる。クラッチとのセット品もある

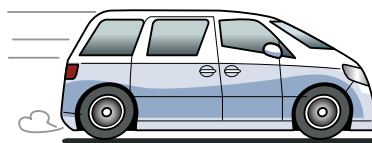


シングル・ツイン・トリプルプレート

チューニングカーにも対応しフライホイールまでがキット。ディスクが1枚のものをシングル、2枚をツイン、3枚をトリプルと呼び、より高いトルク伝達ができる



足もとに魅せられる！ 軽快に走行できる！

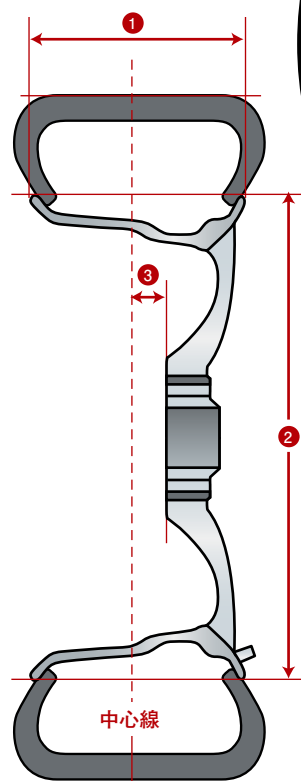
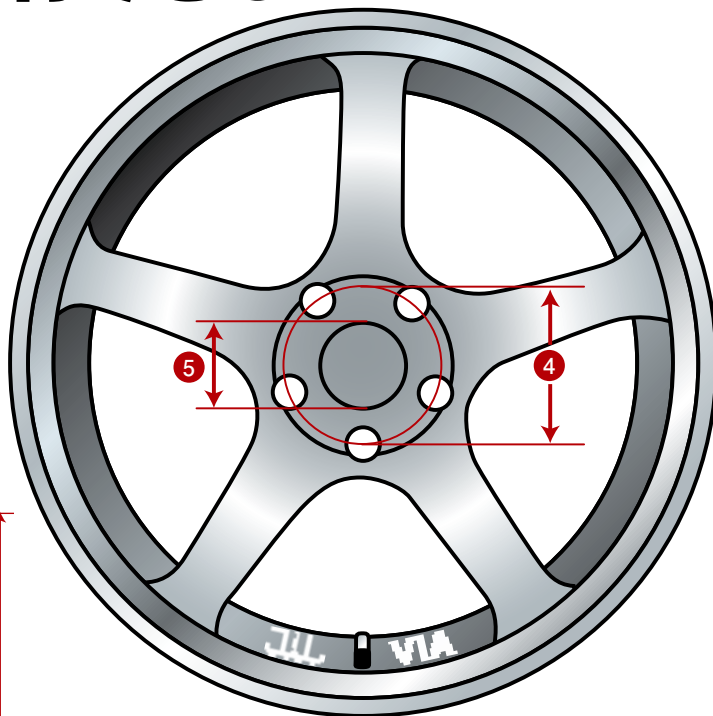


各部の名称と意味

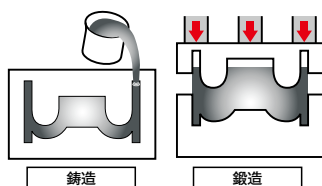
- ① **リム幅**「8J」などホイール幅をインチで表示。数字が大きいほど幅が広い。
- ② **リム径**「18 インチ」などホイール径をインチで表示。数字が大きいほど大径ホイール
- ③ **インセット** ホイールの中心線と車体取付面との位置関係。「40」なら中心から 40 mm 内側。数字が小さいほど車体外側に出る
- ④ **PCD・H** 114.3-5H ならナット取付け穴ピッチの直径が 114.3 mm で 5 か所ある
- ⑤ **ハブボア径** ハブ穴の直径

逸品を見つけよう

街中を走るクルマを見ていても、いろいろなデザインのアルミホイールがあることがわかる。まずは愛車をカッコよく仕立てられる、ドライビングがもっと楽しくなる、ホイール選びのポイントからだ



軽さで選ぶ



製造技術の進化から
軽いつくりが多い

素材を高圧プレスで成形したのが鍛造品。溶解した素材を成形したのが鋳造品。構造は鍛造品が優位に思えるが、鋳造品も頑丈かつ重量を抑える製法が進み、いまや並ぶ性能のものも珍しくない

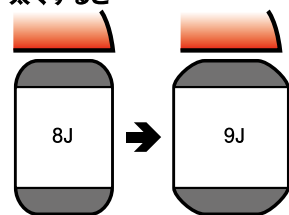
デザインで選ぶ

機能性を優先するか
ルックス重視でいくか

たくさんの種類があるがスポーツ走行には剛性があり、軽く、ブレーキの冷却に有効なスポークタイプが最適。ルックス重視なら、ずばり気に入ったモデルを選ぶべし

サイズで選ぶ

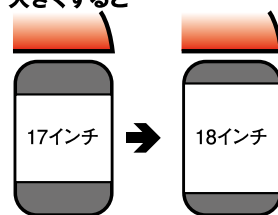
太くすると……



リム幅のワイド化

タイヤサイズが同じでも、適正サイズ内でリム幅の少し広いホイールへ組み込んだ場合、タイヤに張りが出て、操舵時にクルマが敏感に反応する

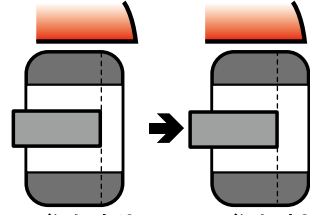
大きくすると……



インチアップをする

タイヤ外径を純正品と同等に保ち、ホイールとともにインチ数のみ大きくし、幅も太くする。操作感が上がり、愛車の足元をドレスアップできる

外に出すと……



インセットを詰める

同じリム幅でもインセットの数字が小さいと、ホイールが外側に出てフェンダーが近づく。走行では踏ん張りがきき、見た目もいい



ホイールのカタログにはサイズの詳細や適応車種などが記載されている。参考にすれば悩まず選べるだろう

ホイールの品質・技術基準

JWL

国土交通省が定める乗用車用軽合金製ディスクホイールの技術基準を自社試験で満たしたことを表すものでホイールに刻印

VIA

公的な第三者機関で JWL に関する確認試験を実施し、基準への合致が確認され、VIA 登録制度を完了したホイールに刻印

JAWA 品質認定証

NAPAC の JAWA 事業部（ジャパンライトアロイホイールアソシエーション）が JWL 技術基準に適合し、VIA 登録を済ませた会員企業の製品に貼付されている「品質の維持向上」の証。品質のトリプルチェックといえ、つまり安心して装着し、使用できるホイールの認定証

ホイールナットもあわせてかえよう

ホイール交換後は、純正ナットでは取り付けできないものもあるので、ホイールと車両に合ったナットを必ず使用する



トルクレンチで締め付けトルクを点検・管理

ナットは自然にゆるみを生じるため、定期的に規定トルクで締め付ける。一般に 100N・m 前後だが、愛車の指定値を把握して行うこと



こういう効果がある



選ぶときはココをチェック

取付

サイズ

荷重

- たとえばホイールは、純正と同サイズでも軽量なタイプなら素材の特性に基づいた走行性能の向上が見込める
- 同じようにタイヤも純正と同サイズでも、グリップ性能が優れると、直進もコーナーも安定性が増す
- すなわちホイールとタイヤを、サイズとグリップ性能ともに変更すれば、フットワークがスポーティになる。インチアップではドレスアップ効果も

- 履きたいホイールとタイヤが愛車に収まるサイズなのか、マッチングをよく調べる
- インチアップは選ぶタイヤのロードインデックスを確認。車検にかかわる
- サイズに迷ったら、お店に並ぶインチアップや性能アップ用のセット品を選ぶのも手
- ハイグリップタイヤ装着時は、サスペンションとブレーキも、グリップに負けない強さにするのが理想

タイヤ

種類と特徴

235/35R18 92

タイヤ幅を表し 235 ならおよそ 235 mm となる。カタログに正確な幅が記載されている

35 は扁平率で数字が小さいとタイヤが薄い。R はラジアル構造。18 はリム外径でインチ表示

ロードインデックスで、そのタイヤに負荷することが許される最大の質量。具体値が書かれた一覧がある



S タイヤ

ハイグリップ
ラジアルタイヤ

コンフォート
ECO タイヤ



性能と実用はトレードオフ。S タイヤはグリップに優れるが摩耗が速く、ミゾが少ないのでノイズも出る。サスの強化も必須。ECO 系は乗り心地に有利。ハイグリップラジアルは中間的な性格。街乗りからスポーツ走行まで守備範囲が広い



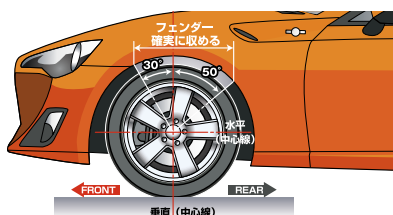
同じ外形でも扁平率と幅の違いで走りが変わる



タイヤの特性は扁平率によって変わる。一般に扁平率が低くなるほど運動性能はよくなり、高くなるほど快適性能がよくなる

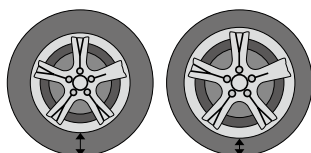
アルミホイール×タイヤの組み合わせ ココを押さえる

① 保安基準適合の大原則 車体へ確実に収める



保安基準で回転部分の突起が定められ、検査規程では直進状態のときに図示した範囲が車体からハミ出してはならないとされている。ホイールキャップやナットもハミ出しは厳禁

② インチアップは外径とロードインデックスに注意



外径が変わりすぎると車体への干渉や、速度表示に誤差が出る。また扁平化で空気量が減るので、ロードインデックスが満たせるか注意。国内の自動車用タイヤに、JATMA 規格で各サイズの空気圧と最大負荷の関係が規定されており、これに適合させる必要がある

③ 空気圧を定期的に点検しハンドリングを保つ



左から高すぎ、低すぎ、適正。接地が偏ると操安性が悪化。減りも早い。サイズに合う空気圧へ常に合わせよう

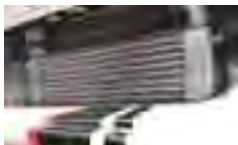
スタイリッシュに! 高いスタビリティで駆けられる!!

好みのスタイルに仕立てて走ろう

エアロパーツで外装を好みのスタイルに飾りながら、走行性能もアップさせよう。空気に優れるクルマは、姿勢が安定し、タイヤも路面にびたり接地するようになるから、風を切って走れる。また個性的なスタイルは、他人とは違う「スペシャルティ感」を演出できる

フロントバンパースポイラー

バンパーごと交換することで印象が変えられ、ローフォルムに見せられる。機能性ではフロントの安定感が増し、冷却系が冷えやすくなる。しかし開口部が少ない方が空力には有利



ターボ車は インタークーラーを魅せたい

スポイラーの形状次第ではアピールになり、風もよくあたって冷えやすくなる。ただ NA 車にもいえるが、異物が冷却パーツを直撃するとは一大事。開口部にネットがつくタイプがいい

ウインカーの高さに注意

前面のウインカーは取付高さや位置の範囲が決まっている。乗用車は路面から下端が 35 cm 以上を確保し、車両外側から 40 cm 以内。逸脱する場所への移動や取外しは厳禁だ



平成21年1月1日以降の生産車は
外形突起にかかわる基準も適用される

記載年月以降の生産車（※1）は、外部突起物規制が適用される。平成 29 年 3 月までは猶予期間だが、パーツは必ず新外装基準適合等の表示があるものを選ぶこと。すでに組んでいて現状が適合外なら、期日までに合致させること

リップスポイラー

純正バンパーをベースにフロントの安定性や接地性、ブレーキの冷却性能を高められる。路面側の下部が車両後部に向かってアンダーパネル状に折り返してつくられていると、より装着効果が得られる



ボンネット

車両前方から流れてくる風が通り抜けられるダクトがついていると、ラジエターの冷却効率向上や、エンジンが発する熱の排出効果につながる。純正品の材質がスチールなら軽量化にもなる



オーバーフェンダー・ワイドフェンダー・フェンダーモールの車検

カッコいいが装着後に車幅がノーマルから左右合計 20 mm を超えて広がるフェンダーは原則、改造申請が必要。範囲内に収まっても、リベット留めや一体化は改造申請の対象になり得る



アンダーパネルで得られる 車両下面の空力は効果的!

凹凸のある車両下面を平面的に覆うアンダーパネルは、路面と車両の間の空気の流れを整流することで高いダウンフォースを発揮。写真のようなルーバー付きは、エンジンルーム内の熱気を排出する効果もある。また、外部突起などに留意しなくてよいので法的な心配も少ない



こういう効果がある



選ぶときはココをチェック

寸法

形状

取付

- 愛車を個性的に仕上げられ、ドレスアップがきわめられる
- 空力性能が向上し、ストレートもコーナーも安定性が高まる
- レーシングカー同様にサスペンションやタイヤの能力をとことん活用する走りができる

- 全長、全幅、全高、最低地上高の変化に注意。なによりエアロパーツ装着後も愛車が保安基準に適合してなくてはならない
- エアロパーツは、塗装が必要になるものが少なくない。取り付け工賃を含め、費用をしっかりと把握しよう
- 装着に、車体への穴あけなどの加工を要するパーツもある。確実な取り付けには避けられないところだ

GTウイング

公道走行には幅・高さの基準がある

リアの接地性が増す。公道での使用は両サイドが車体の最外側と165 mm以上離れているか、または車体との隙間が少ない車検対応品に限られる



エアロミラー

空気抵抗に有利な形状で、保安基準の規定に合わせて決められた範囲の後方視界が確認でき、接触時に可倒するものが車検対応品としてある



リアデフューザー

リアバンパーに追加する。走行風がフロント側からフロアと路面の間を流れてくる。それを車両後方へ導き出し、走行安定性を向上させる



サイドステップ

ローダウンが強調できることはもちろん、フロントスポイラーと連携し、走行風の下部からの逃げを防ぎ、リア側へ早く流れるようにする



リアスポイラー

車両のフロント側からボディ表面付近にそって流れてくる走行風を、車両後方へ加速させるように流し、スタビリティアップに活かす



アンダーパネル

走行風が、リアバンパー側に速く流れるように機能する。走行安定性に効くダウンフォースが強められ、またエンジンの冷却もアシストする



エアロチューンのポイント

① 全長・全幅・全高・形状を守る



改造申請なしに変更できる寸法の範囲が決まっており、その中に収めると安心だ。なお軽自動車の車体サイズには現行規格と従来規格があるので混同しないように気をつけよう

② 装着はボルト・ナットで確実に行う



高速道路やハイスピードのサーキット走行では、クルマは想像以上に高い風速を受ける。パーツの一部が押されたときに脱落しけないように、プロの手でしっかり取り付けてもらおう

③ 軽量化にも注目する



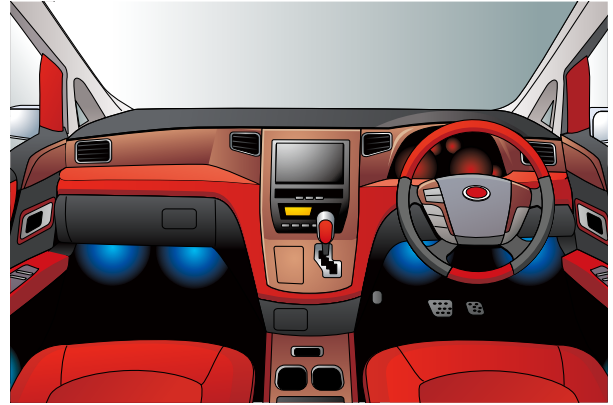
重量の軽いバンパーやスポイラーなどを装着し軽量化を行うと、加速が早まる効果が期待できる。また、車両の前後や高い位置に付くパーツの軽量化を進めると、ハンドル操作に対してクルマが素早く応えて動くようになる



ドレスアップ インテリア

素材にこだわることで ワンランク上の雰囲気を 手に入れる

インテリアのカスタマイズで大事なものは、オーナー自身が求めるイメージを妥協せず実現する、ということ。素材や色、手触りなども含めてこれだ！ というものを見つけたい



シートカバー



POINT

こういう効果がある

- ノーマルでは得られない高級感を実現
- 色にこだわることで大きなイメージチェンジが可能

選ぶときはココをチェック

コーディネート

フィッティング

- 高級感を求めるならレザー素材やキルト仕上げといった具合に、イメージにマッチしたものを選ぶ
- 装着した際、ノーマルかと思えるようなフィッティングレベルが高いものがベストチョイス

素材に加えてステッチの入れかたやそのカラー、デザインなどさまざまなものがラインアップ。オーダーが可能となっているものも多いので、予算に合わせて選びたいところだ

光モノ



LED ルームランプをセットしたとき、その光を反射するパーツをポイントごとにセットしておくと、カスタマイズの効果が大きくなる。夜間にどう見えるのかを考えて選びたい

フロアマット



素材、デザインによって高級さやスポーティさなど、さまざまなイメージを演出可能。運転席用だけでなく、セカンドシートやカーゴスペースも含めてコーディネートしたい

その他レベルアップアイテム

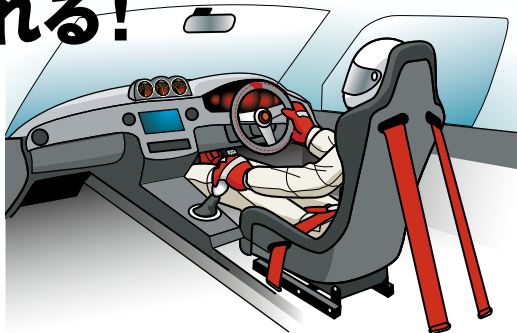
シートやフロアマットと共通イメージのダッシュボードやネックパッドをセットすると、室内のイメージは一気に完成度が高くなる。ハンドルカバーもイメージチェンジ効果が大きい





コクピットが飾れる！ レーサー気分 運転もできる!!

インテリアのカスタマイズと、走りを満喫するために、シートとステアリングをスポーツタイプに交換しよう。体がホールドされ、操縦性が高まり、爽快なドライビングができるようになる



POINT

こういう効果がある

- スポーツシートやバケットシートは体をしっかりホールドし、「人車一体」クルマを操る実感が強まる
- スポーツステアリングは操舵感がよく、ステアリング径によっては、切り込む操作が鋭くできる

選ぶときはココをチェック

取付

機能

- シートは自分がクルマを使う環境を考えて選ぶ。フルバケットシートは2シーターを除き左右同時交換は不可
- ステアリングはエアバッグを残すタイプか、それともスポーツ性を優先するか、前者は車種設定がやや少ない

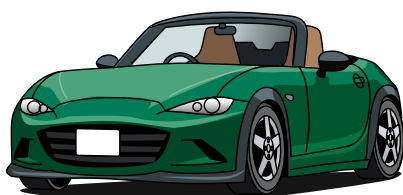
フルバケットシート



体をしっかりサポート

スポーツカーでのサーキット走行に最適

低めの着座位置で体が包まれるように収まり、しっかりホールドされるモノコック型。クッションが薄めなので、クルマの動きを感じ取りやすい。スポーツ走行向き



スポーツシート



多くのクルマにマッチ

走行シーンに広く対応し快適性も○

ホールド性に優れながら、クッションは多くが体になじむ硬さ。純正品と同様にリクライニング機構も備わる。多くのクルマに取り付けられ、広い用途に使える



スポーツステアリング



グリップは手にフィットする素材が採用され、操作性のいい形状や外径につくられている。エアバッグは使えない。エアバッグ装着車で取外した場合は要注意保険の見直し

車検対応ボス

スポーツステアリングの交換はボスが必要。車検対応の構造や強度を備えるボスを選ぶ

エアバッグが使える
純正交換タイプ

純正エアバッグが活かせる。純正と同径で握りやすくしたもの、運転ポジションやメーターの視認性を考え小径にしたものがある



車検には専用レールが必要

レールは運転席と助手席用があり、メーカーがそのシートに合わせて設計し、強度証明がなされた専用レールと組み合わせて初めて保安基準に適合する。車検時には品番等の確認を受ける場合がある



レーシングカーばりの脱着式ボスは意外に実用的

装着はスポーツステアリングに限られるが、ローポジションのフルバケットシートや車高の低いスポーツカーで乗降がスムーズになったり、愛車の盗難予防になったりと実用的



操作性アップや雰囲気づくりにあわせて交換しよう

シフトノブ



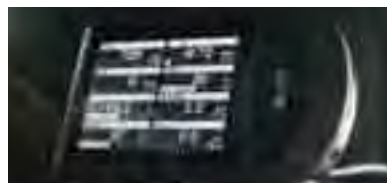
自分が握りやすい形状にしたり、高さを調整できる。また、材質が異なるものにして重量を軽く、もしくは重くするとシフトフィールを変えられ、ギアチェンジが面白くなる

フルハーネスベルト



スポーツ走行で大きなGを受けても、ドライビングポジションがしっかり保てる。FIA公認モデルを選択すれば、サーキットでは万全。なお公道走行では純正ベルトを使用すること

追加メーター

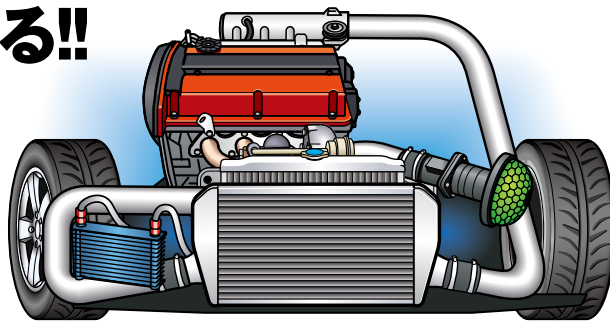


OBD（故障診断機能）が装備されていれば、対応するマルチメーターを使うとエンジン情報が簡単に見られる。状態の把握だけでなく、運転の分析や燃費走行など便利に使える



エンジン・クーリング

愛車を安定したパワーで走らせられる!!



POINT

こういう効果がある

- 走行時にエンジンオイルや冷却水、吸入空気を適温に保てるとエンジンパワーが安定し、エンジン性能をフルに発揮させられる。スポーツ走行では温度の急上昇を抑えられ、負荷が緩和でき、サーキットコースでは連続周回がしやすくなる

選ぶときはココをチェック

取付

機能

- 走行目的やエンジンパワーに見合った冷却性能が備わるパーツを選択する。冷え過ぎもよくない
- ラジエーターはコアの厚みが増すタイプでは、周辺部分に加工を要する
- オイルクーラーとインタークーラーの装着は、車体やバンパーの加工が必要な場合がある

ラジエーター



GOOD

BAD



水温の上昇を抑制

エンジン内部で発生する多量の熱は、冷却水が循環して冷却される。そのため高効率のラジエーターで冷却水を素早く適温まで下げると、性能と耐久性が保てる。熱の吸収を促す成分でできたクーラントの併用も有効



オイルクーラー



オイルの機能を維持

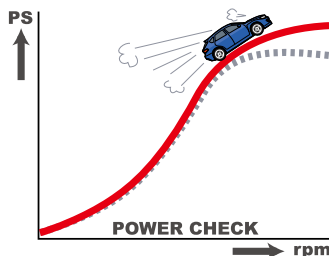
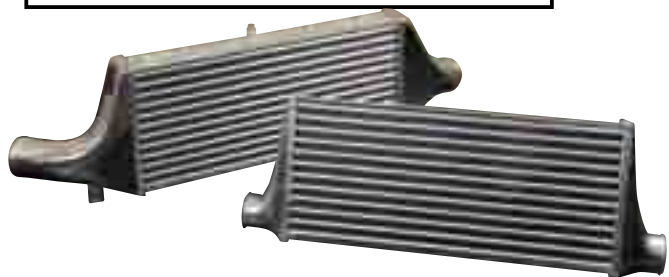
油温が高まるとエンジン内部の潤滑などの作用が低下する。空冷式オイルクーラーを装着すれば安定した効果が見込め、オイルの機能が保てる。オイルフィルター移設式を選ぶとメンテナンス性も向上

GOOD

BAD



インタークーラー



吸入温度を最適化

ターボ車の吸入気は、過給で高温になり、体積が増しながら酸素密度が薄まる。外気温の高い日はそれが顕著。冷却性能の高いインタークーラーで、燃焼に最適な温度にすれば本来のパワーが得られる

エンジン回転数が上がって吸入空気量が増すほど効果が見込める



のちのチューニングも考える

ECU書き換えや純正形状のスポーツタービン装着は、定番で臨みやすいメニューだ。早期に進む予定なら、初めに対応できる冷却パーツを選んでおくのも手だ

愛車のエンジンにベストなオイルを見つけよう

冷却チェーンの1つとしてエンジンオイルの性能にも目を向けよう。エンジンフィールのアップや耐久性の確保につながる!



ターボ

ターボエンジンは、燃焼時の爆発する力が強く発熱量も多い。そんな環境下でも油膜が保持され、熱にも耐える性能が与えられている

ECO

低温域から高温域まで、潤滑や保護などの安定した効果を発揮。環境や燃費志向のECOカーのエンジンをストレスなく働かせる



NA

NAエンジンは軽い吹き上がりや、アクセルレスポンスを求められる。頑固な被膜を形成しながら、フリクション抵抗も抑える特性



特定エンジン専用

直列4気筒に6気筒とエンジンの長さや、水平対向にロータリー、そしてV型など構造によるオイルの循環、潤滑に合わせた特性





ライティング

夜でも明るくドライビング!
色・光で自己主張もできる

POINT

こういう効果がある

○ヘッドライトのバルブを高性能化すると、視認性の向上が見込め、余裕をもって走れるばかりか、他車や歩行者へ存在も知らせやすくなり安全運転につながる。もちろん愛車が輝き、個性化できる

選ぶときはココをチェック

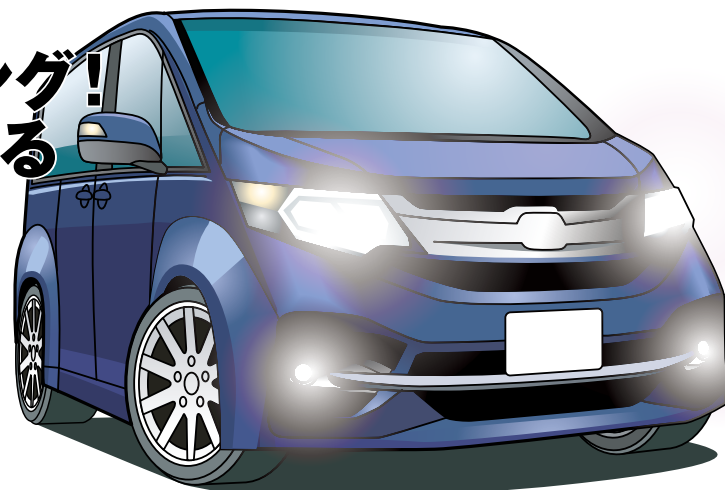
光度

光色

個数

取付

●灯火類は保安基準で明るさや色、個数、取付高さなどが細かく決まっている。信頼のあるメーカーのカタログやホームページを参照し、車検対応が明確に記載されたアイテムを選ぶこと



① HID搭載車なら高性能バルブを装着



明るさや色あいが変わり
視認性がグンとアップ

今や純正装備されることが多いHID式ヘッドライトやフォグランプ。だが、純正品で物足りなさを感じていれば、高性能HIDバルブに交換したい。白色系のクッキリした射光が前方に延び、視認性が驚くほどアップする

② ハロゲンバルブ車ならアップグレード



HIDコンバージョンキット

ハロゲン式ヘッドライトやフォグをHID式に変更できるキットがあり、純正HID式と同等以上の明るさにチューンアップできる。ただし価格はそのパーツ構成から少し高め

適合表に注意

車種により一部の年式やグレードが対応しないケースは、カタログの適合表に注記がある



高性能ハロゲンバルブへの交換

ハロゲン式ヘッドランプやフォグランプの明るさを手軽に増せる。消費電力を抑えながら、純正の2倍相当の明るさになるタイプもある

③ 最新のLEDバルブ化

少ない消費電力で
はっきり照らせる

LEDヘッドライトとフォグランプは点灯が瞬時に配光が明るく綺麗。消費電力の少なさも魅力だ。最新を求めるならコレで決める。また、明るさ、配光が保安基準に適合するものを選ぶ



④ ポジションランプやライセンス灯をLEDに



レスポンスよく光り
アピール度&安全性がUP

ポジション球やライセンス灯をLEDに替えることで、よりスタイリッシュにドレスアップができる。外装ライトは保安基準に適合するものを選ばなければならない。特にライセンス灯は不適合品が多いので注意が必要



ルームランプ



ルームランプ用LEDバルブで室内の明るさが倍増。フロント以外にセンターやリア、フットランプ用もあり

ウインカーランプ



ウインカーランプもLEDバルブ化ができ、点灯がハッキリ! 安全性の向上にも寄与する

これらに使用するLEDバルブは小さいが、車検対応品は保安基準に合致させる仕組みとなる

知っておきたい灯火の色と用語

灯火色

ヘッドライト= 灯火色はすべて白色
(H17年生産車までは黄色可)
※ 要保安基準適合バルブ装着

ウインカー= 橙色

ブレーキ・尾灯= 赤色

バックランプ= 白色

ライセンス灯= 白色

用語

カンデラ= 光の明るさ(光度)を表す

ケルビン= 色の温度を表す

値小・黄色→値大・青色

ルーメン= LEDバルブの光源の照度を表す



エンジンの吹け上がりが速くなり サウンドも軽やかになり スピード感が高まる!!

スポーツマフラー

公道走行が行える

保安基準に合致するスポーツマフラーのほとんどは、純正のフロント・センターパイプと組み合わせて使用する。交換によりメインパイプ径が太くなり、サイレンサー（消音器）の仕組みも変わるので性能がアップするわけだ

認証プレート

排気騒音規制値を満たす性能を有する証。交換用マフラーの事前認証制度が適用される車両用は、性能等確認済みの表示プレートがつく



純正品はメインパイプやサイレンサーの内径が細い。スポーツマフラーへの交換後はエンジンの回転上昇が速まり、加速感が増す。サウンドもスポーティな音色が響く

出口径

メインパイプ径

個性をみつけよう

① テールのデザイン

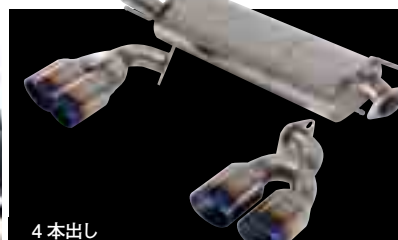
テールはまさに嗜好品。ドレスアップも兼ねられる。好みの形状を基本に選ぶといい。メーカーによっては専用リアスポイラーを設定し、テールの位置を移設するタイプもある



シングル出し



W出し



4本出し

② 材質とテールの処理

一般に軽さは同形状ならチタンが最軽量。スチールとステンレスは同等。それ以外は低音傾向。テールのみチタンやカーボンは、メインの材質で性格が決まる



③ カスタマイズ志向とチューニング志向

同じクルマ用でもレイアウトに種類がある
コンフォート系は純正品のレイアウトを基本にする。一方、レーシング系はメインパイプの曲がりや直線的な配置。排出ガスが速く流れ、軽量化にも有利な構造が多い。スポーツ走行に向く



コンフォート

見栄えがよく音量も適度



レーシング系

排気の抜けがよく音質もやや低め

マフラー・フロントパイプ・キャタライザーを組み合わせる場合は要確認



通常は音量や排出ガスの試験を、各単体で車両に装着し受けている。併用では条件が変わって、音量等が保安基準外になるケースもある。また効率が上がると、燃料噴射量などの補正も必要となる

POINT

こういう効果がある



選ぶときはココをチェック

音量

形状

排出ガス

取付

- スポーツマフラーを装着するとエンジンのフィーリングがアップ。気持ちよく吹け上がる
- テールエンドに迫力や美しさが加わるので、同時にリアビューのドレスアップも行える
- エキゾーストノートも音色に雰囲気加わり、アクセルワークがだんぜん面白くなる
- エキマニやスポーツ触媒など、ステップアップでパフォーマンスをもっと高められる
- マフラーを換えて公道を走るには車両の年式ごとに定められた排気騒音、テール形状、そして最低地上高を満たす必要がある
- JASMA(日本自動車スポーツマフラー協会)認定マフラーや、性能等確認済み表示のつくマフラーを選べば保安基準への適合が確実
- 平成21年1月以降の生産車はテールエンドに外装の技術基準も適用される。29年3月までは猶予期間だが、以降は合致させねばならない

エンジン

エキゾーストマニホールド

通称エキマニ。排出ガスが初めて通過し、NAは触媒付きも多い。その形状でエンジン特性が中高回転向きなどに変わる。車検では触媒同様の証明を求められる例もある

フロントパイプ・センターパイプ

一般にエキゾーストマニホールドにつながる箇所をフロントパイプ、マフラーにつながる箇所をセンターパイプと呼ぶ。チューニングに合わせて交換

NA エンジン

ターボエンジン

スポーツキャタライザー

排出ガスの浄化機能を備えながら、排気抵抗が低い高効率の触媒。車検用に公的機関で排出ガスや加速騒音の確認を受けた証明が付属

ターボ

車両の年式・製造年月で保安基準の適用が異なる

※乗車定員6名以下の場合

スポーツマフラーは保安基準の騒音規制値や認められる形状が車両の年式で異なる。購入前に車検証で初年度登録と備考欄を確認して、該当する基準を確認しておく

平成元年
騒音規制車

騒音規制値は車両を停止状態で計測する近接排気騒音がフロント・リアエンジン車ともに103 dB以内。JASMA 認定品は 100 dB以内

平成10・11年
騒音規制車

車検証に平成 10 (11)年騒音規制車 近接排気騒音 XXdBの記載があり各 96dB、100dB以内。JASMA認定品は各 95dB、98dB以内

平成21年1月以降
生産車

平成 10・11 年の排気騒音とともにテールをバンパーの一定ラインから 10 mm以内に収める ※規定の形状にあればこの限りではない

平成22年4月以降
生産車

車検証にマフラー加速騒音規制適用車とあれば、前項の規定を含む交換用マフラーの事前認証制度が適用。インナーサイレンサー式も不可

音量のイメージ

110 dB

電車が速い速度で激しく行き交う、また架橋の上を電車が通過するときの音を、その真下で聞くイメージ

100 dB

交通量の多い道路をクルマが頻繁に行き交うときのイメージ。10dBの差があると受ける印象はかなり違う

90 dB

犬が吠える鳴き声や、機器が稼働している騒々しい工場の中、重機が近くを走る時の音量イメージ

エアクリナーの同時装着でさらにフィーリングアップ



純正は吸入音が抑えられ、吸入した空気がエンジンに届くまでの経路も長い。つまり吸入抵抗が高い。マフラーと同時に交換すれば吹け上がりの軽さが増す

オープンタイプ

空気の入口、純正エアクリナーボックスを外して装着。フィルターが露出し、外気を直接吸うので効率に優れ、吸入音も楽しめる

純正交換タイプ

純正エアクリナーボックスは残し、内部のフィルターのみ低抵抗にする。多くの空気は吸えないが吸気温度が安定。吸気音も静か



よい混合器・よい圧縮・よい火花というエンジン性能を引き出す三原則がある。スパークプラグの摩耗はパワーダウンのもと。吸排気チューン時は、高性能の新品プラグへ交換したい

不正改造は犯罪です!!

知らなかったでは済まされない! 不正改造に注意しよう

ご存知の通り、一般公道を走行するには法令（保安基準）に適合した状態でなければいけません。不正改造車両については、その改造を実施した者には6ヶ月以下の懲役又は30万円以下の罰金が課せられ、使用者には整備命令が発令されます。また、不正改造は法的な問題だけでなく、重大な事故につながるとも危険なものでもあることを理解し、適切な整備がされた状態の愛車でカーライフを楽しみましょう

消音器(マフラー)

保安基準 内燃機関を原動機とする自動車には、騒音基準値等に適合する消音器を備えなければならない

前面ガラス

保安基準 指定外のステッカー貼付は不可
保安基準 前面ガラス等に装飾板を装着した状態又は運転席および助手席の窓ガラスに着色フィルムを貼り付けた状態での可視光線透過率が70%未満のものは不可

バックミラー

保安基準 鋭利な突起がないこと
保安基準 歩行者等に接触した場合に衝撃を緩衝できる構造であること

触媒装置

保安基準 触媒等が取り外されていないこと

サスペンション

保安基準 切断等により、ばねの一部又は全部が除去されていないこと

警音器

保安基準 音が自動的又は断続するものは不可
保安基準 音の大きさや音色が自動的に変化する又は運転席で容易に変化させることができるものは不可

不正改造例

前部霧灯

保安基準 白色又は淡黄色であること
保安基準 同時に3個以上点灯しないこと

車幅灯

保安基準 白色であること（方向指示器、非常点滅表示灯又は側方灯と一体又は兼用のもの及び二輪車等については、橙色でもよい）

その他灯火(ディライト)

保安基準 赤色でないこと
保安基準 光度300cd以下であること
保安基準 点滅しないこと

不正改造例

基準外のウイング

保安基準 側方への翼形状を有していないこと
保安基準 確実に取り付けられていること
保安基準 鋭い突起がないこと
保安基準 その付近の最外側、最後端とならないこと

タイヤ

保安基準 回転部が突出する等、他の交通の安全を妨げる恐れのあるものでないこと

尾灯/制動灯

保安基準 赤色であること

方向指示器

保安基準 橙色であること
保安基準 点滅回数が毎分60回以上、120回以下であること

番号灯/後退灯

保安基準 白色であること

後部反射板

保安基準 赤色であること

こんなところにも気をつけよう

パーツの組み合わせや取り付け方によって保安基準外になることも!

カスタムした部分以外が間接的に保安基準外になってしまうこともあるので注意が必要。代表的な例では、トヨタ86がサスペンションの取り付けによるローダウンでウインカーの位置が下がり、保安基準（地上から350mm以上）に抵触してしまう事例もある



排気系についての保安基準で特に注意したいのが「事前認証」制度。平成22年4月1日以降に生産されたクルマは、あらかじめ性能等を公的機関に認証・登録された製品でないと車検を受けることができない。さらに、エキマニとマフラーなど単独で事前認証を取得していても、その組み合わせで事前認証を取得していなければ適法とはならない場合もある



保安基準は公道を走るクルマに課せられた国の定めるレギュレーション

保安基準は車両の安全性の確保、公害の防止、環境の保全などが定められた道路運送車両法の一項目で、73 条から成り立つ。その中に多数の要件が並ぶが、把握や理解は難しい面もある。そこでパーツメーカーが、保安基準適合品といった合法が明確な製品を開発し、販売している。それらを選べば気軽にカスタマイズが楽しめるのだ

決められた指定部品は原則として交換が自由

平成 7 年 11 月 22 日以降、軽微とみなされるパーツの変更は、構造変更（改造申請）等が不要となった。その対象となるのがまず指定部品だ。固定的、簡易的な取り付け方法をとれば、右の一覧にあるパーツは自由に交換できる。範囲内であれば車体の寸法も変えていい。とはいえ最低地上高や外装の形状、排気騒音、灯火色等の要件は保安基準の規定が適用され、遵守しなければならない。たとえばサスペンション交換は、9 cm を割る最低地上高は原則として認められない

指定部品以外の自動車部品は装着後の寸法などが一定範囲内にあれば OK

指定部品以外のパーツは自動車部品として、装着後の車体の寸法と車重が、記載の一定範囲内にあれば軽微な変更になる。取り付けは、恒久的な方法も可能だ。エンジンなどのチューニングもこの中に含まれる。しかし自動車部品も、満たすべき要件は保安基準が基本となる。たとえば全高は ± 4 cm とあるが、最低地上高は原則 9 cm 確保が絶対だ。また、車幅についてオーバーフェンダーは指定部品ではないので、軽微な変更は左右合計で 2 cm までとなる

保安基準への適合はオーナーの役目

自由なパーツ交換と引き換えに、ユーザーは愛車を常に保安基準へ適合させる義務がある。保安基準を逸脱することがないように、チューニングを進める際には ASEA が認めるパーツで保安基準適合の状態を維持しよう

正しい、楽しいチューニングのススメ

ASEA が認めるパーツは保安基準への適合が確かで性能にも優れる

NAPAC の ASEA 事業部では ASEA 基準を設け、会員メーカーのパーツについて登録制度と認定制度を行っている。そのパーツが法令で定められた要件を満たすことを前提に、メーカーの自社基準・規格・品質をクリアしていれば申請によって ASEA 登録アイテムとなり、製品にはその基準登録証が付く。さらに ASEA の厳格な試験と評価による認定基準を満たしたパーツには、基準認定証が付く。これを目安にパーツを選べば正しく、楽しいチューニングライフが送れるわけだ

どちらも保安基準に適合させた公道走行もできるサーキット仕様。ポイントさえ押さえれば、この WRX や 86 のようなスベックもつくれる



定められている部品の取り付け方法

簡易的	容易に脱着が可能な取り付け
固定的	ボルト、ナット、接着などによる一般的な取り付け
恒久的	簡単に取り外しができない溶接、リベットなどによる取り付け

軽微な変更として扱われる指定部品の例^(抜粋)

車体まわり	エアスポイラー	エアダム	フードスクープ	エアロパーツ類	フェンダーカバー	ロールバー
エンジン	エキゾーストパイプ	マフラーカッター				
室内	ナビゲーション	オーディオ				
操縦装置	ステアリング	シフトノブ				
緩衝装置	コイルスプリング	ショックアブソーバー	ストラット類			
騒音防止装置	マフラー	排気管				
その他	灯火類					

自動車部品(指定部品以外)を装着した場合に変更が許される一定範囲

	軽自動車・小型自動車	普通自動車
全長	± 3 cm	± 3 cm
全幅	± 2 cm	± 2 cm
全高	± 4 cm	± 4 cm
車重	± 50 kg	± 100 kg

部品の取り付け方法と一定範囲の関係

○：軽微な変更の範囲 ×：構造変更・記載変更の手続きが必要

		一定範囲内	一定範囲超
指定部品	固定的な取り付け	○	○
	恒久的な取り付け	○	×
自動車部品	固定的な取り付け	○	×
	恒久的な取り付け	○	×

最低地上高

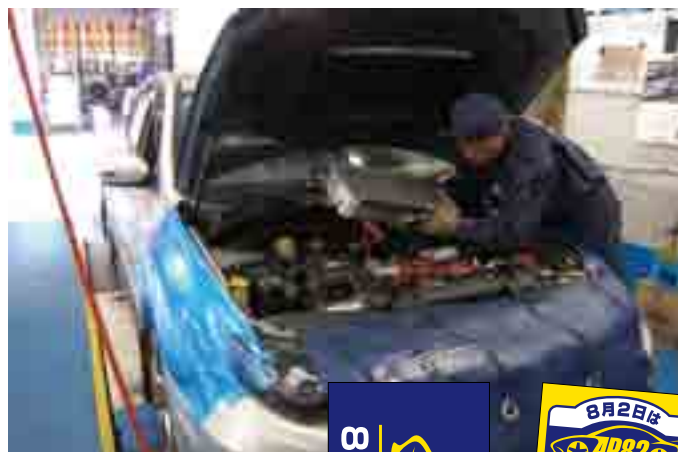
自動車の全面の地上高は指定部品、自動車部品の装着にかかわらず空車時に 9 cm 以上を確保する必要がある。ただし、ホイールベースとオーバーハングの寸法、クルマの構造の条件などにより異なる





8月2日「オートパーツの日」は、クルマの可能性をより高める
カスタマイズパーツ&アップグレードパーツへの交換促進に加え、
安全走行に寄与する消耗パーツの定期点検・交換を促進する記念日です。
夏休みには、愛車をグレードアップして、安全快適なドライブを楽しもう!

オートパーツのアップグレードや 消耗品の点検・交換をして、



愛車の点検整備やアップグレードには、確かなパーツ選び、確実な取り付けと点検整備技術を持ったお店選びが肝心です。その点、「オートパーツの日」を提唱する「日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会 (NAPAC)」のパーツと、「(一社) 自動車用品小売業協会 (APARA)」の加盟店等なら安心してあなたの愛車を任せられます!



安心・安全にカーライフを楽しもう!

日本記念日協会に
登録・承認済み



8月 (August) を「オート」。8月2日を「パーツ」と語呂合わせし制定した「オートパーツの日」は、NAPACより申請され、日本記念日協会によって記念日として登録されています



パーツ点検交換後はサーキット走行を楽しもう!
NAPAC走行会実施中!

NAPACでは年数回、憧れの本格レーシングコース富士スピードウェイにて走行会を開催。愛車の性能を確かめながら、モータースポーツを楽しむ機会をつくることでユーザーのカーライフをサポート。加盟各社のブース出展とデモカーの展示や同乗試乗なども行い、さらなる楽しさを提供しています



ASEA基準 認定品 会員一覧



(株)エンドレスアドバンス、(株)カーレック、
(株)キャロッセ、ブリッド(株)、(株)ワークス
ベルはASEA登録品も有り。
2016年1月現在・50音順

(株)エンドレスアドバンス
〒385-0013
長野県佐久市横和1012-1
0267-68-6888

(株)カーレック
〒152-0003
東京都目黒区碑文谷5-12-14深澤ビル202
03-6425-7340

(株)キャロッセ
〒370-0018
群馬県高崎市新保町1664-1
027-352-3578

(株)ディクセル
〒566-0052
大阪府摂津市鳥飼本町4-8-13
072-654-0121

ブリッド(株)
〒476-0015
愛知県東海市東海町1-11-1
052-689-2611

(株)ワークスベル
〒154-0002
東京都世田谷区下馬3-22-10
03-3410-1411

ASEA基準 登録品 会員一覧



2016年1月現在・50音順

アサヒライズ(株)FET事業部
〒379-2131
群馬県前橋市西善町2004
027-280-8001

(株)阿部商会
〒101-0053
東京都千代田区神田美土代町3-2
03-3233-2213

(株)エイチ・ピー・アイ
〒132-0025
東京都江戸川区松江2-10-20
03-5663-2551

エムケーカシヤマ(株)
〒385-0009
長野県佐久市小田井1119
0267-67-7700

(株)オーエス技研
〒702-8001
岡山県岡山市中区沖元464
086-277-6609

(株)オクヤマ
〒224-0053
神奈川県横浜市都筑区池辺町4539
045-934-5334

小倉クラッチ(株)
〒376-0011
群馬県桐生市相生町2-678
0277-54-7101

カーツ(株)
〒704-8588
岡山県岡山市東区西大寺五明387-1
086-942-1111

(株)ケイエスピーエンジニアリング
〒208-0034
東京都武蔵村山市残堀2-29-1
042-569-2930

(株)ケミテック
〒278-0001
千葉県野田市目吹1569
04-7192-8460

(株)コラント ヴァレンティ事業部
〒501-6311
岐阜県羽島市上中町長間1881
058-397-0303

C-WEST(株)
〒662-0863
兵庫県西宮市室川町4-26
0798-72-9000

(株)シルクロード
〒636-0245
京都府世田谷区都田原本町味間310-1
07443-4-1155

(株)スマート
〒651-2412
兵庫県神戸市西区竜が岡5-28-9
078-380-2780

(株)テイン
〒245-0053
神奈川県横浜市戸塚区上矢部町3515-4
045-810-5501

(株)東名パワード
〒194-0004
東京都町田市鶴間1737-3
042-795-8411

(株)トムス
〒158-0082
東京都世田谷区等々力6-13-10
03-3704-6801

PIAA(株)
〒112-0005
東京都文京区水道1-12-15白鳥橋三笠ビル
03-6891-3311

(株)ブリッツ
〒202-0023
東京都西東京市新町4-7-6
0422-60-2277

矢島工業(株)
〒373-0032
群馬県太田市新野町944
0276-31-1311

(株)ラック
〒480-1103
愛知県長久手市琵琶ヶ池20-1
0561-63-0101

(株)レイル
〒244-0803
神奈川県横浜市戸塚区平戸町335
045-824-1835

日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC) 会員一覧

2018年3月1日現在 148 社・30 店舗

(株)アーカイブ		〒272-0137 千葉県市川市藤原4-13-6	047-300-2303
アールプライド(株)		〒345-0033 埼玉県北葛飾郡八潮市東葛750-2	0485-36-2710
(株)アイフル		〒003-0009 北海道札幌市白石区甲斐道17丁目4-32	011-866-2960
(株)アイリックス		〒277-0005 千葉県船橋市栄1-5-10-7	047-7129-8810
(株)豊田科学研究所		〒106-8115 東京都港区六本木5-10-1 六本木ヒルズ森タワー18F	03-3403-4301
(株)アウクス		〒415-0031 静岡県富士市豊田375-15	0545-65-6099
(株)アミカルオートコーディネーション		〒404-0814 愛知県名古屋市中川区三河町南通2-7	052-354-2533
(株)アロム		〒256-0011 東京都武蔵村山市南郷3-15-3	042-518-9000
アサヒマシズ(株) F&T事業部		〒375-2131 群馬県前橋市西通り2004	027-780-8001
(株)アサヒ		〒183-0066 東京都府中市高松町2-27-22	042-306-7321
(株)阿部製作		〒101-0003 東京都千代田区神田錦土代町3-2	03-3233-2213
(株)エスエコーレーション 旧DAVIN事業部		〒473-0839 愛知県豊田市長瀬町山崎7番地	0565-62-8555
(株)エスローハット		※緑会小売チェーン会員のため優先順位は未定	
(株)イケアフォーミュラ		〒322-0046 栃木県鹿沼市桜山町427-1	0585-64-6033
伊藤屋オートモービル(株)		〒107-0061 東京都港区五反田5-5-1 伊藤ビル16F	03-3487-4527
(株)イリスインターナショナル		〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-16-7	03-5820-2827
(株)インターテクノロジー		〒102-0072 東京都千代田区新富2-1-2 豊西ビル1F	03-3282-7000
(株)ヴァルド		〒565-0072 大阪府東淀川区中10-13	072-673-3000
(株)ウェッジ		〒143-0016 東京都大田区大森北1-6-8 ウェッジビル4F	03-5753-8213
(株)ワイドベル		〒222-0001 神奈川県横浜市港北区津田町1-25-1	045-541-1861
(株)ワイドベルジャパン		〒451-0032 愛知県名古屋市中区新富町2-13	052-508-4561
(株)エラスト		〒671-0077 大阪府門真市大橋町24-17	072-800-2588
(株)エイチビーアイ		〒132-0005 東京都江戸川区船江2-10-20	03-5663-2531
エイディーエス(株)		〒751-1133 岡山県岡山市南区富田3004	086-286-8031
(株)エアベタ		〒480-0825 愛知県津島市長山町2-14-8	053-775-3308
(株)エムエムジョイ		〒105-4304 東京都港区新橋6-4-8	03-5473-7588
エムケーシステム(株)		〒385-0000 長野県佐久市小沼町1118	0267-67-7790
M4 57533		〒676-0006 大阪府東大淀町3-5-6-7	06-6748-2603
(株)M-T2C		〒351-8586 埼玉県熊谷市豊前町3-15-11	0485-462-3131
エンヤイ(株)		〒431-1504 静岡県浜松市東区新井町1700-28	053-522-5245
(株)エンドレスアドバンス		〒385-0014 長野県佐久市三河内22-3	0267-67-5535
(株)オーエス技研		〒702-8001 岡山県岡山市中区沖光464	086-277-8808
(株)オーグシステム		〒105-0019 東京都港区浜松町1-2-5 浜松町丸ビル4F	03-3438-4112
オーゼットジャパン(株)		〒430-0807 静岡県浜松市中区東通2-55-20	053-489-9011
(株)オートバックシステム		※緑会小売チェーン会員のため優先順位は未定	
(株)オクヤマ		〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区津田町4558	045-534-5334
小倉ワタチ(株)		〒370-0011 群馬県前橋市北町2-678	0277-54-7101
(株)オフビート		〒685-6404 徳島県美波町清田町275-1	0895-73-3944
カーフ(株)		〒704-8588 岡山県岡山市東区西大寺五軒387-1	086-942-1111
(株)カープザワールド		〒145-0085 東京都大田区久が原5-28-5	03-5745-7737
(株)カーポートマルゼン		〒590-0003 大阪府堺市東区東通2-5-10	073-228-5058
(株)カーレッジ		〒182-0003 東京都目黒区神田5-12-14 神田ビル202	03-6425-7340
(株)義興門		〒150-0091 東京都世田谷区中町3-31-2	03-5706-7777

主パーツアイコン

※アイコン以外のパーツも取り扱っている場合がございます。



(車) カタスコーポレーション		〒583-0871 兵庫県豊前市豊前4-3-371	0373-852-0097
(車) カスミオート		〒559-8247 大阪府堺市中央区豊山48-1	0373-235-8232
(車) モーリス		〒370-0018 群馬県高崎市新保町1884-1	0327-352-3578
(車) キャリアアシスタ		〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東4-1-2	0343-941-4341
部品直営(株)		〒140-0081 東京都大田区中區東船場4-4-21	03-6334-0331
(車) 西宮コーポレーション		〒457-0977 愛知県名古屋市中区主税町4-3	052-624-7630
(車) 緑芝堂		〒503-0858 岐阜県大垣市大外町3-28-2	0584-83-6658
(車) ツイック		〒538-0941 大阪府大阪市東区今津北3-2-12	06-5009-2090
(車) ツライマイト		〒930-0188 富山県富山市中環田883-4	0276-471-6271
(車) グリーンフラッグ		〒272-0837 千葉県市川市堀之内3-28-8	0477-374-0703
クワイエットジョーン(株)		〒225-0826 神奈川県横浜市西区新島町12-27 Y1ビル601	0343-242-4811
(車) クリムゾン		〒535-0300 大阪府大阪市東淀川区東3-5-27	06-6180-1511
(車) グループ・エム・レーション		〒551-0818 埼玉県熊谷市幸町3-12-24	0485-485-9627
(車) ケースベック		〒447-0075 愛知県豊田市立山町4-32-2	0565-45-5507
(車) ケイアイメイト・ジャパン		〒533-0811 大阪府大阪市淀川区神楽橋7-7-3	06-6806-3007
(車) ケイエスピー・エンジニアリング		〒208-0034 東京都武蔵村山市神楽坂3-29-1	043-689-2930
(車) K-MEAC		〒583-0000 大阪府堺市東区大井473-1	072-831-1000
(車) ケミックス		〒278-0001 千葉県野田市日取1588	0477-719-8460
(車) コーリンプロジェクト		〒811-3218 福岡県福岡市東区百道1845-1	092-657-0811
SDGNインターナショナル(株)		〒585-0846 大阪府八尾市上之島町北6-5	073-996-8005
(車) コスミック		〒454-0926 愛知県名古屋市中川区美知町4-81	053-383-8111
(車) コラント		〒501-8257 岐阜県羽島市藤崎町平方4-43	058-987-0333
(車) シーアールエス		〒581-0881 大阪府豊中市池田1-21-20	06-6832-9000
(車) シーアールケイ		〒436-0032 愛知県名古屋市中区栄区三本松町1-10	052-871-0266
カネBIT(株)		〒882-0823 沖縄県西原市重町4-28	0978-72-8000
カンマーティング(株)		〒585-0853 大阪府大田区東船場3-2-7	073-52-2831
(車) ソーラー・レーション		〒448-0842 愛知県刈谷市東園町3-1	0566-25-8108
(車) ジェイ・スタイル・コーポレーション		〒454-0613 名古屋市中区東区上野町3-14	052-681-1080
(車) シュウ・システム		〒584-0234 大阪府豊中市長瀬町5-19-7	0721-23-8787
(車) ジョイス		〒370-3504 群馬県北群馬郡吉井町高橋3555-1	0273-25-5511
(車) ジャパン・アクティブ		〒578-0938 大阪府東大阪市東江家町3-3-38	06-4722-5080
(車) ジャパン・エス		〒310-0844 茨城県水戸市池田町155-8	029-347-8283
(車) シルクロード		〒636-0245 奈良県磯城郡田原町味原310-1	07443-4-1155
(車) シンダリ・ウォーカー・ジャパン		〒482-0801 愛知県名古屋市中区新栄町38	052-811-8424
(車) スーパー・スター		〒582-0020 大阪府柏原市片山町15-88	072-875-3900
(車) スーパース		〒911-0412 石川県小松市西町6-88-8	076-580-2780
技芸工場工業(株) (タイヤ国内/プレイス営業本部)		〒135-8005 東京都江東区豊洲3-3-5 豊洲センタービル	03-5546-0153
(車) ZENO-1000		〒454-0836 愛知県名古屋市中川区美知町318	052-365-3001
(車) セントラル		〒182-0038 東京都練馬市上石町1-32-34	0424-85-4451
(車) タマ・タイ		〒454-0956 愛知県名古屋市中川区豊洲町豊洲ビル227-1	052-309-3553
(車) タイ・ワールド・ベスト		〒583-0036 大阪府大阪市東淀川区若竹2-8-5	072-231-0411
(車) 豊田産業		〒137-0834 東京都江東区豊洲3-11-4	03-658-6481
(車) タカマコンプレッション・プロダクト	※株式会社タカマの代表取締役は本部長	〒109-8545 東京都港区芝浦3-11-4	03-3455-0181
(車) タナベ		〒862-0031 大分県高田町小野原3-4-18	072-728-8700

日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC) 会員一覧

2018年5月1日現在 146社・50業種

部品卸売業(株)		〒466-8711 愛知県名古屋市中区白鳥3-20-13	052-992-6001	
(株)ディーエーエス		〒430-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-26-13 ちとせビル3F	052-416-7500	
(株)TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY		〒934-0005 富山県射水市新島34-5	0756-80-0117	
(株)ディーエスエム		〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区海辺町4838-1	045-482-5355	
(株)ディエムシー		〒561-0842 大阪府豊中市今在家町15-12	06-6866-1431	
(株)ディケム		〒506-0002 大分県国東市島郷本町4-6-13	072-454-0101	
(株)ティン		〒246-0003 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2815-4	045-810-5611	
(株)ティノピア		〒101-0005 東京都千代田区西神田3-1-2 ワインド西神田ビル3F	03-3221-4761	
(株)テニートランドサービス		〒216-0005 神奈川県川崎市宮前区舞鶴1780-6	044-254-1943	
(株)ドルネ		〒650-0007 大阪府大阪市東淀川区2-3-17	06-6573-4233	
(株)デュエール		〒112-0003 東京都目黒区綱文2-5-20-1	03-3794-1889	
(株)東京車輪		〒116-0003 東京都荒川区西日暮里3-5-7	03-3807-5281	
(株)東名パワート		〒194-0004 東京都町田市新田町1737-3	042-795-8411	
(株)戸田レーシング		〒714-1215 岡山県小田原市東町4-40-1	0866-63-1202	
トピー工業(株)		〒141-8687 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴェルジ大崎セントラルタワー3F	03-5468-7370	
TOYOTA(株)	ホフメーラーのため優待価格は未記載		〒556-0017 大阪府大阪市淀川区津田2-1-57 豊通サンライズビル10F	06-6640-5980
(株)トムス		〒158-8582 東京都目黒区荏原4-26-13-10	03-3704-6801	
(株)トラスト		〒289-1805 千葉県山武郡芝山町太田3155-5	0479-77-3000	
(株)トレジャーワンカンパニー		〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区茅渚1-31-20	045-990-0319	
永川電子機器(株)		〒213-0003 神奈川県川崎市美浜区下舟延471	044-677-2441	
東山金属工業(株) オブレンジジャパン事業部		〒170-6014 大阪府東大阪市中央町5-6-13	072-961-0802	
ニコルレーシング(株)		〒212-0005 神奈川県川崎市幸区戸手3-5-7	044-201-9903	
(株)ニューズ		〒813-0003 福岡県福岡市南区下郷1-22-25	092-983-8320	
ニューレボトン(株)		〒133-0005 東京都江戸川区南葛町4-14-11	03-3676-2062	
(株)ハートボイス		〒723-0007 広島県広島市西区大草3-8-4	082-509-0300	
(株)熊本コーポレーション		〒908-8274 佐賀県京町市太宰区二条通川崎東人館通町209	075-781-7381	
(株)バディジャパン		〒268-1141 埼玉県所沢市小手指町3-26-7	04-2947-9000	
PATEC(株)		〒747-0823 山口県萩市大字浜辺534-20	0835-25-2500	
PIAA(株)		〒112-0005 東京都文京区本郷1-13-16 森島ビル	03-6891-3311	
ピーエムビー特許販売(株)		〒106-0044 東京都港区東新町2-25-2	03-5588-8011	
(株)ビーズウェイ		〒885-0034 宮城県仙台市宮城野区南7-2-38	023-259-0545	
(株)ファブレスジャパン		〒580-0023 大阪府松原市美加町4-48	076-6836-5555	
(株)フォーバイフォーエंडエンジニアリングサービス		〒605-0006 兵庫県川西市上53481	0574-26-5834	
(株)フジコーポレーション		〒961-3341 宮城県黒川郡豊後町成田1-2-1	022-345-3300	
廣電技研工業(株)		〒220-0012 神奈川県横浜市西区磯間町3-204-17	045-811-1388	
ブリヂストンリチールジャパン(株)		〒104-0031 東京都中央区京橋1-12-2	03-3583-6572	
(株)ブリック		〒203-0003 東京都板橋区京町町4-7-6	0422-80-0719	
ブリッド(株)		〒476-0015 愛知県東海市東海町1-11-1	052-685-2611	
(株)ベスト		〒171-0044 東京都豊島区千手町4-25-3 大宮ビル	03-5666-6061	
ペロフジャパン(株)		〒187-0071 東京都目黒区谷中5-30-11 ACI スクエア3F	03-3482-5461	
(株)ペンインパル		〒135-0054 東京都目黒区高津5-30-3	03-3439-1122	
(株)ペンカフコーポレーション		〒320-0823 埼玉県さいたま市緑区新井4-1-1	048-851-4411	
(株)ネットスタッフコーポレーション		〒816-0801 福岡県大野城市西草3-11-27	092-923-8033	
(株)ネンダフインカム		〒160-0016 東京都杉並区成田西3-21-18	03-5347-7001	
マルカサービス(株)		〒455-0844 愛知県名古屋市中区清洲1-3	052-367-7511	

主カパーツアイコン

※アイコン以外のパーツを取り替えて15場合がございます。



(株) 明和		〒243-0033 埼玉県越谷市青根町7-68	0466-984-3551
(株) モモジャパン		〒158-0097 東京都世田谷区用賀3-28-4	03-5715-5488
丸島工業(株)		〒373-0032 群馬県上田市新野町944	0275-21-1311
横浜ゴム(株)		〒105-8605 東京都港区新橋5-30-11	03-5405-4884
(株) シェワ		〒480-1103 愛知県長久手市笠原ヶ丘25-1	0561-43-0101
(株) フアラーク		〒135-0004 大塚市大塚市保通町4-4-23	03-6785-3002
(株) レイズ		〒127-0016 大塚市大塚市保通町4-4-2	03-6787-1110
(株) レイネ		〒284-0603 千葉県鎌倉市磯子区早戸町325	0465-824-1835
(株) HOSIAM		〒434-0287 愛知県名古屋市中川区江崎町2-70	052-335-0000
(株) フーゴ		〒127-0016 大塚市大塚市保通町4-4-13	03-6785-1133
(株) ワークスベル		〒154-0002 東京都目黒区下馬3-22-10	03-3410-1411
(株) ワールドウイング		〒227-0872 千葉県船橋市十倉2-37-45	0471-34-0007
(株) YIO Corporation JAPAN		〒150-0014 大塚市大塚市保通町5-12-10 山崎ビル3F	03-6380-0711
(株) VVC		〒105-0004 東京都港区新橋5-30-11	03-5431-9981

日本自動車スポーツマフラー協会(JASMA) 会員一覧

2019年4月1日現在 25社・30車種

(株) アークエコー		〒223-0039 神奈川県横浜市港北区金沢町1-3-4	045-345-7301
Apex(株)		〒188-0362 東京都八王子市白根町9-1	0426-875-7130
ロッドモータース(株)		〒270-2314 千葉県鎌倉市田圃535	0274-47-5555
(株) KKD		〒127-0006 大塚市大塚市保通町5-4-34	03-6787-8227
(株) エッチ・デー・エス		〒418-0152 静岡県富士宮市山崎町181	0544-29-1111
(株) MATIC		〒201-8506 埼玉県草加市保通町15-11	048-467-3111
(株) オートバックスジャパン	※聯合小売チェーン系会員の白標車種は未記載	〒115-8717 東京都江東区豊洲5-5-2101 豊洲キャナルフロント	03-5219-8700
(株) オートプロデュース・ボス		〒280-0013 千葉県長洲市江島町1270	025-305-4388
カキモトレーシング(株)		〒182-8541 大塚市大塚市保通町4-4-11	0272-388-8880
(株) カウタスコーポレーション ギャルソン事業部		〒183-0871 大塚市大塚市保通町4-4-11	0272-62-8887
333Mインターナショナル(株)		〒181-0945 大塚市大塚市保通町4-4-11	0272-62-8880
(株) ジー・ピー・スポーツ		〒185-0082 千葉県千葉市中央区3-181	0255-36-7773
(株) セレスポーツ		〒104-0634 東京都港区赤坂1-10-2	03-556-2068
(株) タナベ		〒182-0031 大塚市大塚市保通町4-4-11	0272-728-8700
(株) タニグチ		〒179-2122 千葉県船橋市豊原町1110-2	0275-254-4455
(株) テイワキ		〒154-0071 大塚市大塚市保通町1-10-15	03-6784-0547
(株) トラスト		〒189-1605 千葉県山武郡芝山町大字1155-5	0475-77-3000
(株) 藤田エンジニアリング		〒103-8101 大塚市大塚市保通町1-10-11	0272-258-1113
東京モータース(株)		〒220-0072 神奈川県横浜市西区磯子区2-204-17	045-311-1388
(株) プリッツ		〒200-0025 東京都練馬区保通町4-7-8	03-422-60-0218
(株) サンノインソル		〒135-0054 東京都目黒区保通町5-32-3	03-3439-1122
(株) ホンダウインカム		〒185-0016 東京都目黒区保通町2-21-16	03-5347-7001
(株) マインズ		〒230-0315 神奈川県横浜市保通町4-7-25	045-887-3313
(株) マキシムワークス		〒203-1244 埼玉県さいたま市保通町370-1	048-584-6400
(株) ママ・シワ		〒140-0002 埼玉県さいたま市保通町8-64-2	048-935-1130
丸島工業(株)		〒373-0032 群馬県上田市新野町944	0275-21-1311



**WIRTSCHAFTS UNIVERSITÄT
WIEN VIENNA UNIVERSITY OF
ECONOMICS AND BUSINESS**

標準認定証

ASEA (オートスポーツ・アンド・スペシャル・イクイップメント・アソシエーション)とは、日本のモータースポーツに参加し、レースという貴重な経験からモータースポーツパーツ・パーツ、アクセサリーを開発・販売していたメーカーや、欧米の高品位モータースポーツ用品を輸入・販売していた企業が集まり、日本のモータースポーツを支援・発展させていこうと1981年10月1日に設立された団体(現 NAPAC・ASEA 事業部)です。そして現在では、健全なカスタマイズ&チューニングの発展のため、独自の厳しい試験・評価をクリアしなければならない「ASEA基準」を設け、「安心・安全・信頼」して使用できるスポーティングパーツの振興、普及に努めています

製品名	製品分類	製品名称
ラブリイ・パティエ	ランプ・パティエ	CATZ LED フォグランプ (プリウス用)
サスペンションパーツ	SUSPENSION PARTS	BILSTEIN J-SPEC サスベクションセット
サスペンションパーツ	SUSPENSION PARTS	BILSTEIN J-SPEC 車高調キット
クレーンガバーツ	クレーンガバーツ	インタークーラー
クレーンガバーツ	クレーンガバーツ	アムスリジェター (エヴォルフ)
クレーンガバーツ	クレーンガバーツ	エンジンオイルクーラー エヴォルフ サイドタンク式オイルクーラーコナー
コンペディションギア レーシングハーネス 4 点式 (HP1500)	COMPETITION GEAR RACING HARNESS 4 POINT (HP1500)	
コンペディションギア レーシングハーネス 6 点式 (HP1501)	COMPETITION GEAR RACING HARNESS 6 POINT (HP1501)	
コンペディションギア レーシングスツーズ STAGE200	COMPETITION GEAR RACING SUITS STAGE200	
コンペディションギア レーシングスツーズ STAGE300	COMPETITION GEAR RACING SUITS STAGE300	
ブレーキパッド (ロースタールブレーキパッド)	BRAKE PADD (ROSCARL BRAKE PADD)	
ブレーキパッド (ハイスチャールブレーキパッド)	BRAKE PADD (HISCARL BRAKE PADD)	
ブレーキシュー (ブレーキライニングシュー)	BRAKE SHOE (BRAKE LINING SHOE)	
ライニング シュー	LAINING SHOE	
ブレーキローター (2P)	BRAKE ROTOR (2P)	
ブレーキホース	BRAKE HOSE	
ビードアッパーマウント	BEAD APPER MOUNT	
多板式クラッチキット フェアレディ Z (Z34) 用軽量化インプレートクラッチ TR2A	MULTI PLATE CLUTCH KIT FAIRLEDI Z (Z34) LIGHT WEIGHT INPRELETO CLUTCH TR2A	
ロールバー	ROLL BAR	
OPF アームバー	OPF ARM BAR	
ストラットタワーバー	STRATT TOWER BAR	
フロアサブフレーム	FLOOR SUB FRAME	
トラクタブレース	TRACTABRACE	
メンバークレール	MEMBER CRUISE	
フレームプレート	FRAME PLATE	
整流板 アンダーパネル	RECTIFY BOARD UNDER PANEL	
シングルクラッチキット (メタル)	SINGLE CLUTCH KIT (METAL)	
シングルクラッチキット (カーボン)	SINGLE CLUTCH KIT (CARBON)	
ツインクラッチキット (メタル)	TWIN CLUTCH KIT (METAL)	
ツインクラッチキット (カーボン)	TWIN CLUTCH KIT (CARBON)	
トリプルクラッチキット	TRIPLE CLUTCH KIT	
フォークラッチキット	FOUR CLUTCH KIT	
フライホイール	FLY WHEEL	
リミテッドスリップデフ KAAZ LSD	LIMITED SLIP DEF KAAZ LSD	
ブレーキパッド ZEST 7 Premium	BRAKE PADD ZEST 7 Premium	
多板式クラッチキット	MULTI PLATE CLUTCH KIT	
シングルクラッチキット	SINGLE CLUTCH KIT	
クラッチディスク	CLUTCH DISC	
クラッチカバー	CLUTCH COVER	
フライホイール	FLY WHEEL	
リミテッドスリップデフ	LIMITED SLIP DEF	
ビードアッパーマウント	BEAD APPER MOUNT	
スロトバイザー	SLOTE BIAISER	
サスベクションブッシュ	SUSPENSION BUSH	
電動減衰力コントロールローラー	ELECTRIC DAMPING FORCE CONTROL ROLLER	
ロード・アーム	LOAD ARM	
マスターシリンダーストップバー	MASTER CYLINDER STOP BAR	
タワーバー (アウガー)	TOWER BAR (AWGUR)	
タワーバー (ロア)	TOWER BAR (ROA)	
ロールバー	ROLL BAR	
タワーバー (ロア) パワー・プレス	TOWER BAR (ROA) POWER PRESS	
70mm リング、サイドステップ、リアスポiler、リアスポiler トヨタ 86 エアロパーツ	70MM RING, SIDE STEP, REAR SPOILER, REAR SPOILER TOYOTA 86 AIR PARTS	
P65SSHC	P65SSHC	
P65SHRC	P65SHRC	
EURO ONLY1 (ユーロワンリョーン)	EURO ONLY1 (YOULOWANRYOON)	
REAL ワイトリフトレスペーパー ※1 該当型式 3 種に限る	REAL WHITE LIFT RESPEAPER ※1 SUSPECT TYPE 3 KINDS LIMITED	
86/BRZ 用 JEWEL LED TAIL LAMP (ジュエル エルジーデー テール ランプ)	86/BRZ USE JEWEL LED TAIL LAMP (JEWEL ELGIJIDEY TEAL RANG)	
R35 専用 GT-WING HI-Speed	R35 SPECIALLY DESIGNED GT-WING HI-SPD	
リアスポiler、サイドステップ、リアスポiler、リアスポiler K13 マチエアロパーツ	REAR SPOILER, SIDE STEP, REAR SPOILER, REAR SPOILER K13 MATCH AIR PARTS	
Smart - HID (キット) H4 6000K 35W	Smart - HID (KIT) H4 6000K 35W	
Smart - HID (キット) H11 6000K 35W	Smart - HID (KIT) H11 6000K 35W	
TYPE FLEX DAMPER	TYPE FLEX DAMPER	
SUPER WAGON	SUPER WAGON	
SUPER STREET DAMPER	SUPER STREET DAMPER	
HYBRID WAGON	HYBRID WAGON	
SUPER RACING	SUPER RACING	
GT WAGON	GT WAGON	
SUPER DRIFT	SUPER DRIFT	
リミテッドスリップデフ TECHNICAL TRAX ADVANCE	LIMITED SLIP DEF TECHNICAL TRAX ADVANCE	
Aadvx (アドヴェックス)	Aadvx (ADVEX)	
ブレーキパッド	BRAKE PADD	
リミテッド スリップデフ ハイパー LSD	LIMITED SLIP DEF HYPER LSD	
バルブ STRATOS BLUE (ストラトス ブルー) 6000K.5500K	VALVE STRATOS BLUE (STRATOS BLUE) 6000K.5500K	
車高調キット (DAMPER 2R)	CAR HEIGHT ADJUST KIT (DAMPER 2R)	
車高調キット (DAMPER K'S)	CAR HEIGHT ADJUST KIT (DAMPER K'S)	
車高調キット (DAMPER W'S)	CAR HEIGHT ADJUST KIT (DAMPER W'S)	
ブリヂスポーツシート クライアーパッケージシート	BRIDGE SPORTS SEAT CLAIR PACKAGE SEAT	
ブリヂスポーツシート アルファベット	BRIDGE SPORTS SEAT ALPHABET	
BRIDE スポーツシート ロール RO 及び MO タイプ (下留用)	BRIDE SPORTS SEAT ROLL RO AND MO TYPE (DOWN USE)	
BRIDE スポーツシート FO.FG.GJ.LF 及び FX タイプ (サイド留フルバケ用)	BRIDE SPORTS SEAT FO.FG.GJ.LF AND FX TYPE (SIDE HOLD FULL BUCKET USE)	
スプリング (STD 形状) スバル BPE オートバックハードスプリングセット	SPRING (STD SHAPE) SUBARU BPE AUTO BACK HARD SPRING SET	
スプリング (STD 形状) スバル BP9 オートバックハードスプリングセット	SPRING (STD SHAPE) SUBARU BP9 AUTO BACK HARD SPRING SET	
e-SPORT	e-SPORT	
整流板 アンダーパネル	RECTIFY BOARD UNDER PANEL	
タワーバー (アウガー) ストラットタワーバー	TOWER BAR (AWGUR) STRATT TOWER BAR	
タワーバー (ロア) パワー・プレス	TOWER BAR (ROA) POWER PRESS	
通風バー (マウツとブッシュ)	VENTILATION BAR (MAUTSU AND BUSH)	
油圧アクチュエーター クレーンガバーツ	HYDRAULIC ACTUATOR CRANE GAUZZ	
オイルフィルター キャップ	OIL FILTER CAP	
ビードアッパーマウント インプレッサー GRB.GDB ランサー EVO C24A.CT9A	BEAD APPER MOUNT INPRESSOR GRB.GDB LANSER EVO C24A.CT9A	
ユニバーサルハブキット	UNIVERSAL HUB KIT	
スクリューナット (クワイクリリースアダプター)	SCREW NUT (QUICK RELEASE ADAPTER)	

会社名	製品分類	製品名称
株式会社エヌエフ	駆動系パーツ	マニュアルトランスミッション フェアレディ Z(Z33, Z34) 用クロスミッション
株式会社ロッセ	駆動系パーツ	マニュアルトランスミッション マツダデミオ (DE5FS 用) クスコクロスミッション
株式会社クロード	レーシングギア	ヘルメットクリングシステム RUN-MAX ヘルメット クリングダクトカバーキット

201605 1000